

令和4年12月22日開催

## 令和4年度

### 令和4年度 第2回名古屋大学記者懇談会

日時：12月22日（木） 13:45 ~15:00（予定）

司会：木村副総長

	内 容	担 当
1 冒 頭	・開会・本日のテーマ紹介	
2	・国際広報室の活動について（資料1）  ・「卓越教授」制度の新設について（資料2）  ・COHNEXTの採択について（資料3） 説明：松田 亮太郎 工学研究科教授 森川 高行 未来社会創造機構教授	LINLEY Matthew 副総長補佐・ 国際広報室長  杉山総長
3 自由懇談	・杉山総長から、 今年の振り返り、就任後の所感、来年度の抱負など  ・閉会  【資料配布】1月の行事予定（資料4）	杉山総長 木村副総長

# 【資料1】

国際広報室の活動について

# 【名古屋大学国際広報室】紹介

## 概要

2022年4月に国際広報室設置

6名

室長／副室長（10月着任）／エディター／サイエンスライター／デジタルコンテンツマネージャー／事務担当

連絡先：[kouho-en@adm.nagoya-u.ac.jp](mailto:kouho-en@adm.nagoya-u.ac.jp)

## 活動報告（学内周知・英文プレスリリース・SNS）

### 国際広報室の学内周知・学内連携

英文プレスリリース体制についての学内周知

- ・広報室と連携し、和文プレスリリースの準備の際に英文プレスリリースの依頼も同時に受け付ける体制の整備
- ・英文プレスリリースの流れをHPで解説

学内の他組織との連携

### 英文プレスリリース

#### 制作・発信体制

取材執筆・イラスト制作・Eurekalert!（※）投稿・

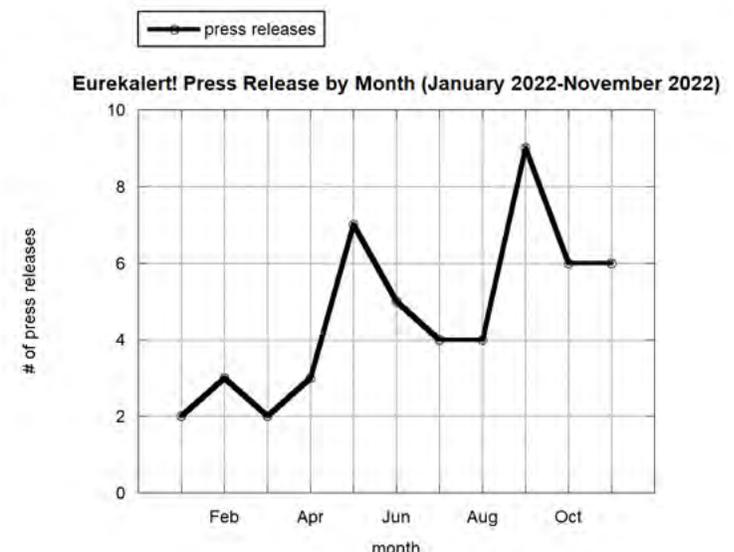
本学ウェブサイト及びSNS投稿

（※）Eurekalert! (<https://www.eurekalert.org/>):

Science誌発行元であるアメリカ科学振興協会（AAAS）提供の世界最大の科学プレスリリースのプラットフォーム。主な読者は世界中の記者と大学・研究機関の広報官。一般メディアへの二次拡散により幅広い層にリーチする。

#### Eurekalert!投稿実績

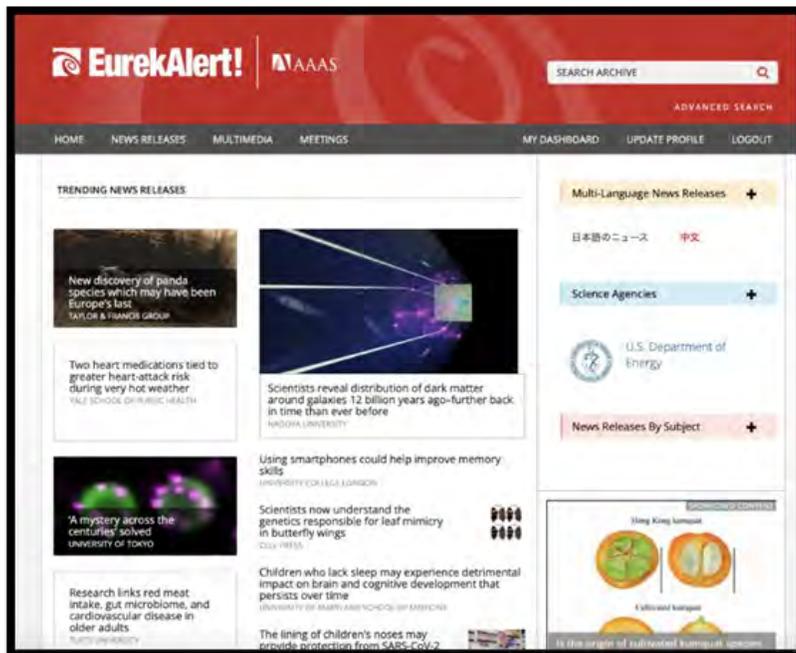
Eurekalert!プレスリリース投稿数（2022年1月～2022年9月）【4月以来合計44件】



## Eurekalert!投稿の例

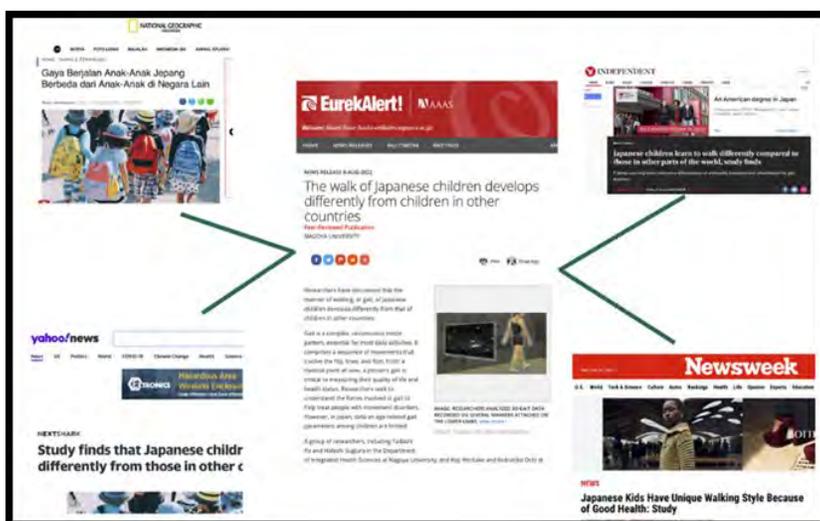
### 2022年8月1日プレスリリース(素粒子宇宙起源研究所)

- ・約6,000ページビュー (2022年名大プレスリリースの中でトップのページビュー)
- ・海外他大学 (プリンストン大学) との初めての同時プレスリリース
- ・EurekAlert!トップページに掲載
- ・海外メディアに掲載: Vice (アメリカ) Yahoo! News (アメリカ) The Sun (イギリス)



### 2022年8月8日プレスリリース (医学系研究科)

- ・2772ページビュー
- ・EurekAlert! トップページに掲載
- ・海外メディアに掲載: Independent (イギリス) Newsweek (アメリカ) National Geographic (インドネシア) 等



# SNSソーシャルメディア（Twitter/Facebook/LinkedIn/Instagram）

## Twitter

@NagoyaUniv (<https://twitter.com/NagoyaUniv>)

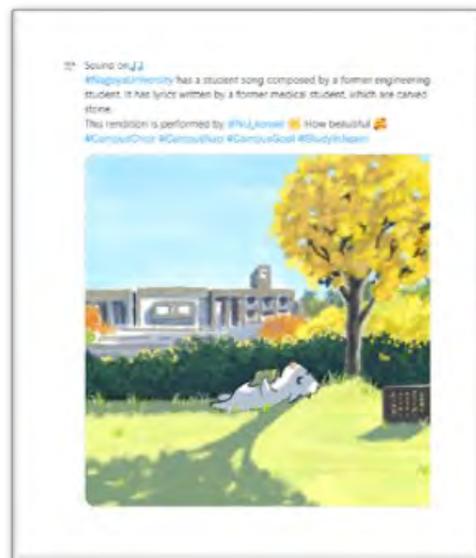
2022年4月21日 国際広報室運用開始（本部広報課より引き継ぎ）

987フォロワー（2022/12/19現在）

2021年度の12ヶ月間と2022年度の8ヶ月間の月間データの比較

平均インプレッション

2021年度: 1264.33 / 2022年度: 42290.1



## Facebook

<https://www.facebook.com/nagoya.university.en/>

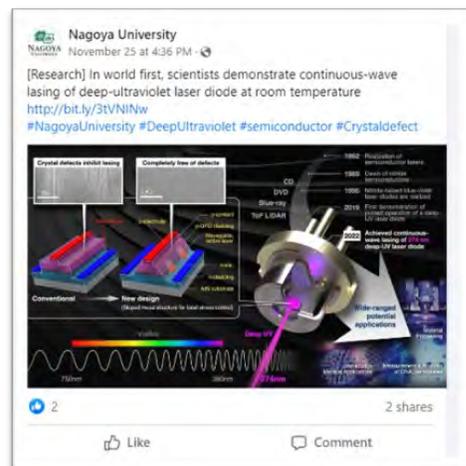
2022年4月21日 国際広報室運用開始（本部広報課より引き継ぎ）

Like数：3,870 / フォロワー数：4,229（2022/12/19 現在）

2021年度の12ヶ月間と2022年度の8ヶ月間の月間データの比較

平均ページアクセス数

2021年度: 425.75 / 2022年度: 11375.17



## LinkedIn

<https://www.linkedin.com/school/nagoyauniversity/>

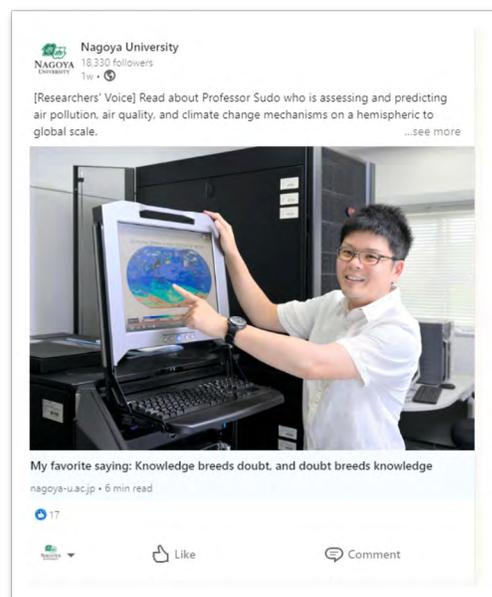
2022年5月19日 国際広報室運用開始（本部広報課より引き継ぎ）

フォロワー数：18,327（2022/12/19現在）

2021年度の12ヶ月間と2022年度の8ヶ月間の月間データの比較

平均新規フォロワー/月

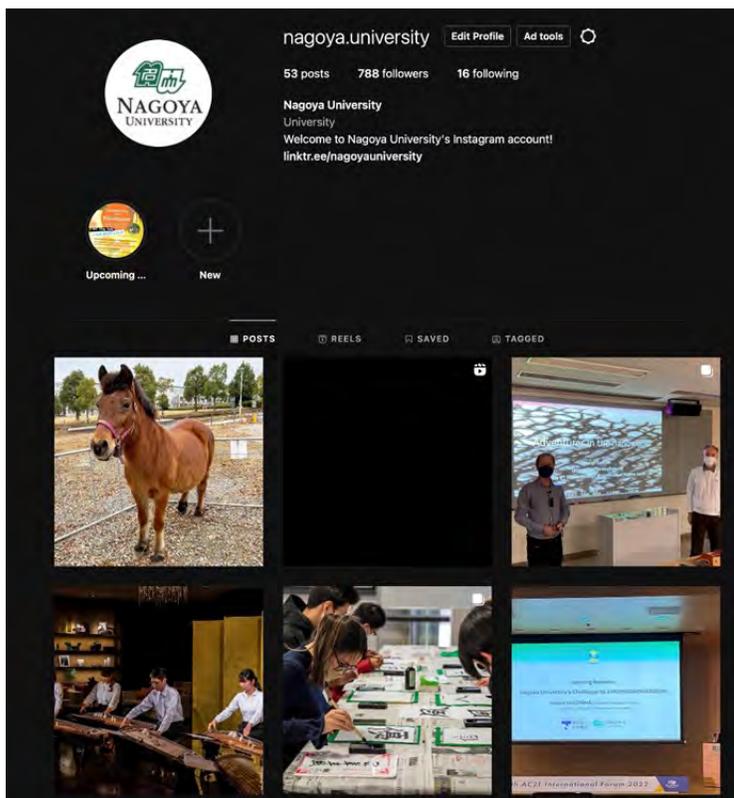
2021年度：152 / 2022年度: 429



## Instagram

<https://www.instagram.com/nagoya.university/?hl=en>

2022年4月28日 国際広報室によって初めて開設（若年層へのリーチのため）



## サイエンスイメージ（プレスリリースで使用）

国際広報室学所属の技術専門職員（松下玲子）による制作



[Once in a century flowering and seeding of dwarf bamboo boosts mice populations](#) 2022年9月7日



[Creating mRNA with an all-chemical process may allow for customized mRNA vaccines](#) 2022年6月7日

# 【資料2】

「卓越教授」制度の新設について

# 世界と伍する研究大学を目指し「卓越教授」制度を創設

大学の研究力を高めるための象徴として、また、研究分野の拡大・形成を目指すため、**称号「卓越教授」を創設**しました。

「卓越教授」に対する高額の給与設定を可能とし、専門分野において世界水準の優れた業績を挙げ、さらなる研究の進展により、**大学の名誉・研究力を著しく高めることが期待できる「若いライジングスター」**の招へいを目指します。

## <制度概要>

【選考基準】 世界と伍する研究者および社会課題解決が期待される研究者について、以下の基準により総合的に判断し、称号「卓越教授」として選考する。

ただし、学外から招へいする場合は、若いライジングスターを対象とし、原則として招へい時の年齢が45歳未満に限る。

- 論文当たり被引用数、Top1%論文割合、Top10%論文割合、FWCI、h-index、外部資金獲得、特許件数その他の研究活動における指標の値が極めて高い者
- 受賞歴、出版物に係る実績および評価その他の考慮すべき事項がある者

【選考方法】 部局教授会の議を経た部局長または大学執行部（総長・副総長）の推薦に基づき、専門性および給与を含めて卓越教授選考委員会において審議した上で、運営会議において決定する。

【付与期間】 6年間。業績が選考基準を満たしている場合は、運営会議の確認を経て更新可能

【対象種別】 教授または特任教授

【給 与】 業績給または基本年俸の上限を適用せず、高額な給与の支給を可能とする。

※具体的な給与額は、現職で受けている給与、業績等を総合的に考慮し、個別に検討・決定

【研究環境整備】 ・研究に専念できる環境を保障（部局における管理運営業務の免除等）  
・招へいによる研究室移転、研究室立上げに係る諸費用（例：研究室員の雇用（最長2年間））等に係る支援

# 【資料3】

COI-NEXTの採択について

## 【資料3-1】

「セキュアでユビキタスな資源・エネルギー共創拠点」

松田亮太郎 工学研究科教授

共創の場形成支援プログラム (COI-NEXT)

共創分野 (本格型)

## セキュアでユビキタスな 資源・エネルギー共創拠点

# HENKAN Co-creation Center (HC<sup>3</sup>)

東海国立大学機構 名古屋大学

大学院工学研究科 教授

名古屋大学COI-NEXT 資源・エネルギー共創拠点長、PL

松田 亮太郎

ryotaro.matsuda@chembio.nagoya-u.ac.jp

2022年12月22日



## 社会課題・背景

### 高度に資源・エネルギーを国外に依存する日本

- 日本のエネルギー自給率：12.1%※IEA「World Energy Balances 2020」
- 資源・エネルギーを海外からの輸入に依存
  - ・原油は中東からの輸入が約90%
  - ・天然ガスはアジア・オセアニアからの輸入が約60%
  - ・石炭はアジア・オセアニアからの輸入が約81%

※財務省貿易統計

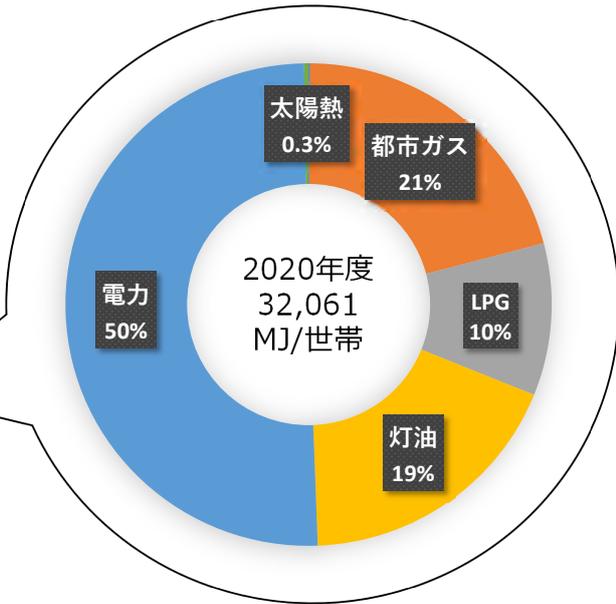
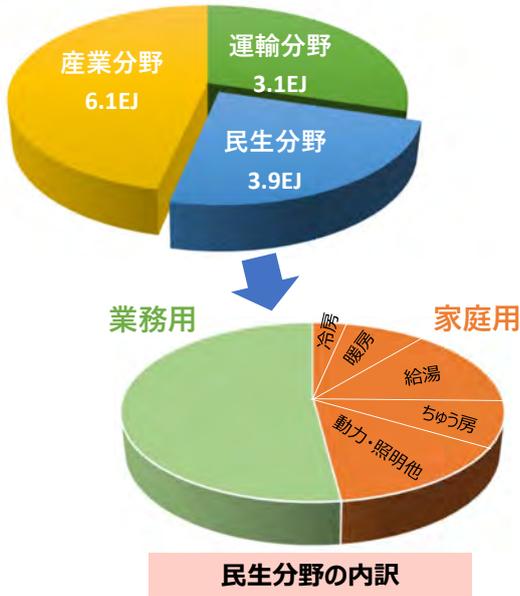
### ここ数年にその問題が特に顕在化



資源・エネルギーを海外に依存する日本の社会課題が、市民生活における様々な身近な問題として現れてきており、国民全員で考える機運が高まっている。

## 市民の生活に必要なエネルギーの現状

一次エネルギーからの変換後の  
約3割を占める民生分野に注目



エンドユーザーにおけるエネルギー消費の割合

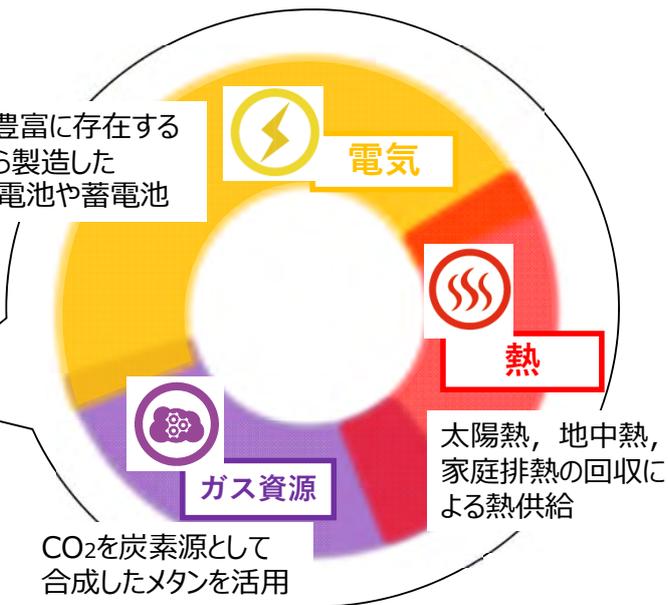
多くの化石資源を使ってエネルギーを消費

## 本拠点ビジョンの出発点

一次エネルギーからの変換後の  
約3割を占める民生分野に注目



国内に豊富に存在する  
材料から製造した  
太陽光電池や蓄電池



エンドユーザーにおけるエネルギー消費の割合

資源・エネルギーとしてガス、電気、熱のマネジメントの変革が必要

家庭部門の自立化は、まち、そして社会全体への展開の起点となる

# 拠点ビジョン（ありたい未来社会像）の設定

## 消費から“変環”へ

～無理なく楽しく資源・エネルギーを皆で共創し、資源のない日本を資源国へ～

“変環”とは、WSから生まれた変換と循環を意味する造語。従来の生産→消費→廃棄からの流れを変革し、市民自らが生産者になることを示すキーワード。



未利用資源・エネルギーの活用

まちで資源・エネルギーを地産する技術開発

市民みんなが自ら実践するための仕組み・仕掛け

# 拠点ビジョンからのバックキャスト～ターゲット設定～

## 消費から“変環”へ

～無理なく楽しく資源・エネルギーを皆で共創し、資源のない日本を資源国へ～

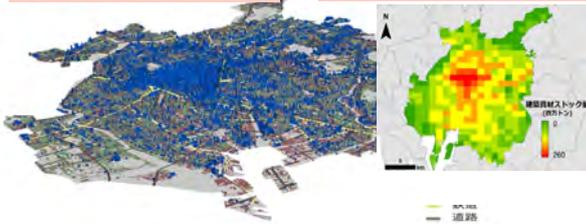


# 各課題のねらい

## 課題1 新資源・エネルギーの発掘

金属・非金属資源分布イメージ (名古屋市)

金属・非金属資源分布イメージ (名古屋市)



■まちの中での新規資源・エネルギー候補の発掘

## 課題5 人材育成から社会変革

市民・学生



企業・ベンチャー  
大学  
自治体



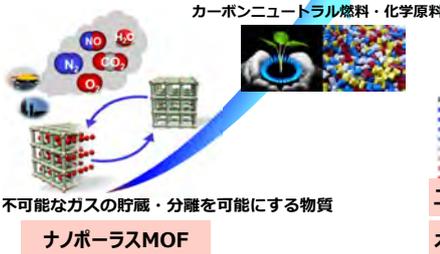
“変環”STEAM教育  
プログラムの構築



“変環”ライフスタイルを  
実践するリーダー人材を育成

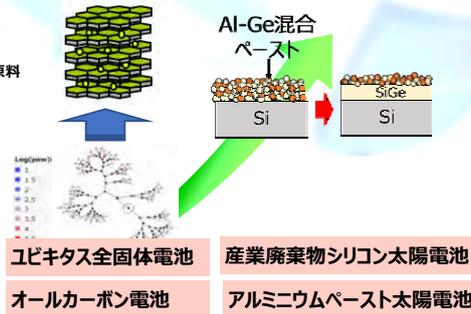
## 課題2 未利用気体の変環

$N_2$ を肥料・燃料へ  
 $CO_2$ を燃料・化学製品へ



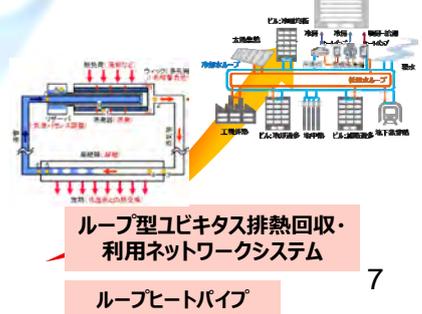
## 課題3 ユビキタス電池変環

蓄電・発電の材料革新



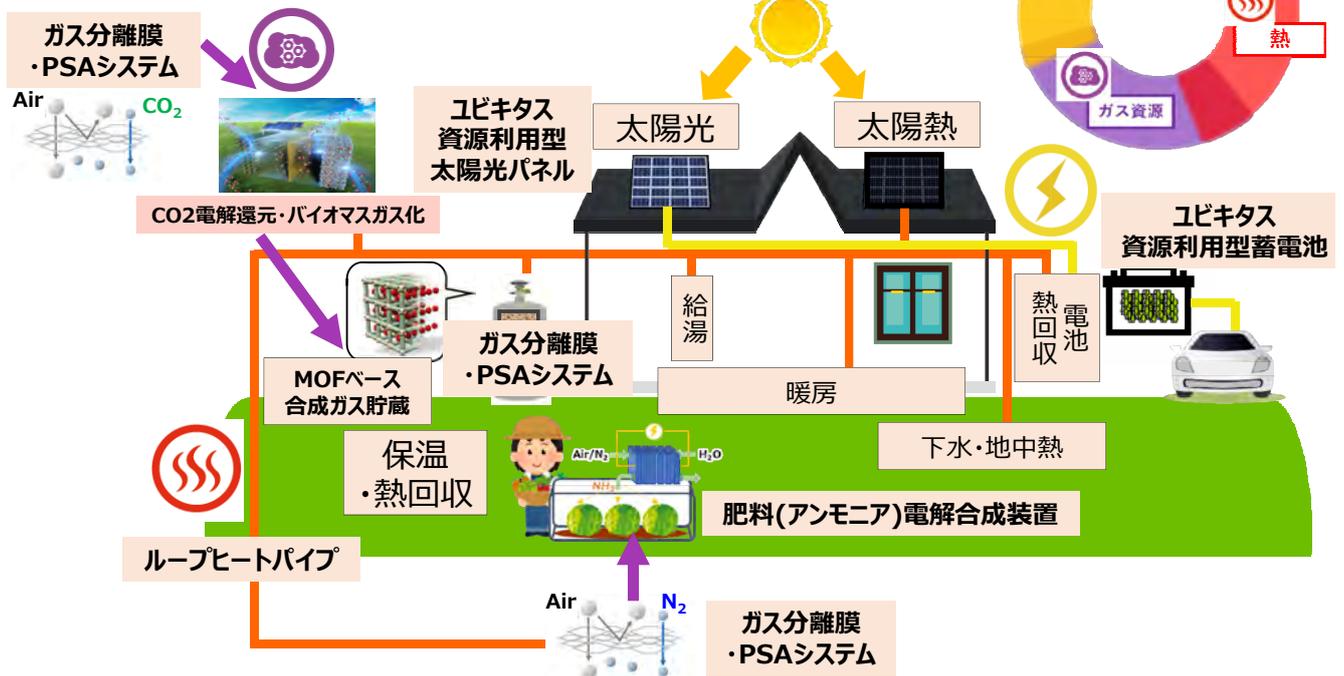
## 課題4 ユビキタス熱変環

未利用熱を使い尽くす



# 実証実験を通じた“変環”技術のPOC

7年度目（2028年度）までに“変環”技術を開発し、実証用住居における実証実験を通じて、参画企業またはスタートアップ等での事業化の目途をつけ、その後の社会実装に向けた開発を進める。



さらに企業や名古屋市等との共創により、街区スケールでの実証を目指す。

## 本拠点の特徴

“変環”可能な資源・エネルギーの探索と価値化を**人文社会系と自然科学系の研究者チームによる総合知**で実施

拠点から生まれた成果の横展開や新規用途展開を目的とした教育・事業化には、製造関連企業、自治体に加えて、**金融機関との連携も検討**

参画機関・名古屋市・名大博物館・名大附属中高と連携し、**中・高・大・院の学生、市民をシームレスに接続して、ビジョンバックキャスト**をタイムリーに実施し、**技術の進歩や最新の社会変化（戦禍、パンデミック等）に対応したレジリエントな研究開発を推進**

**新材料MOFの分野で世界最先端の学術研究成果を上げ、研究フェーズから社会実装に向けた名古屋大学発ベンチャー企業（株）SyncMOF社の起業を主導した松田がPLとして本拠点をけん引。**

Diversity

Inclusion

Agility

Leadership



PL: 松田亮太郎  
Nature, Science, Nature姉妹誌に11報  
H-index:56 令和2年学術振興会賞受賞  
2015年38才で名大教授に着任（現45才）

島岡 潤一: SyncMOF(株) 代表取締役社長  
元JST-ERATO松田亮太郎Group研究員



堀 彰宏: SyncMOF(株) 副社長兼CTO  
元JST-ACCEL松田亮太郎Group研究員  
元名大松田研助教



JSTの「学術研究を社会実装へ」の mindset を体現

「MOF」を軸にした世界トップのソリューションプロバイダー  
\*ガスや気体を自在に貯蔵・分離できる次世代多孔性物質

シンクタンクによる評価

- ✓ MOFの性能評価に基づく「実装」可能な名大発ベンチャー企業
- ✓ 脱炭素機運の中、大手上場企業100社以上のガス排出・需要に係るコンサルティングを手掛け、ガスに係る社会的ニーズが当社に集積  
現時点で将来ビジネスは1,500億円超規模を予測
- ✓ トンスケールでMOF製造、ハニカム成型加工を手掛ける
- ✓ 外部投資家からの調達実施することなく、**CARG400%、粗利率90%と事業化を実現した、唯一無二のマテリアルスタートアップ**
- ✓ 虎ノ門CIC入居スタートアップの代表格であり、サーキュラーエコノミーPJや起業家支援・メンターにも熱心に取り組む



9

## 本拠点の特徴

“変環”可能な資源・エネルギーの探索と価値化を**人文社会系と自然科学系の研究者チームによる総合知**で実施

拠点から生まれた成果の横展開や新規用途展開を目的とした教育・事業化には、製造関連企業、自治体に加えて、**金融機関との連携も検討**

参画機関・名古屋市・名大博物館・名大附属中高と連携し、**中・高・大・院の学生、市民をシームレスに接続して、ビジョンバックキャスト**をタイムリーに実施し、**技術の進歩や最新の社会変化（戦禍、パンデミック等）に対応したレジリエントな研究開発を推進**

**新材料MOFの分野で世界最先端の学術研究成果を上げ、研究フェーズから社会実装に向けた名古屋大学発ベンチャー企業（株）SyncMOF社の起業を主導した松田がPLとして本拠点をけん引。**

Diversity

Inclusion

Agility

Leadership



PL: 松田亮太郎  
Nature, Science, Nature姉妹誌に11報  
H-index:56 令和2年学術振興会賞受賞  
2015年38才で名大教授に着任（現45才）

島岡 潤一: SyncMOF(株) 代表取締役社長  
元JST-ERATO松田亮太郎Group研究員



堀 彰宏: SyncMOF(株) 副社長兼CTO  
元JST-ACCEL松田亮太郎Group研究員  
元名大松田研助教



※2022年12月19日  
空気中のガスから特定の物質のみを回収することができる素材「MOF（モフ）」の研究開発を手がける名古屋大学発スタートアップ企業「SyncMOF（株）」が、二酸化炭素の回収用に開発・製造したモフを北安曇郡白馬村に寄贈した際の写真  
新聞記事としても取り上げられる

# 産学官民が手を携えて拠点ビジョンを実現

## 消費から“変環”へ

～無理なく楽しく資源・エネルギーを皆で共創し、資源のない日本を資源国へ～



# 【資料3】

COI-NEXTの採択について

## 【資料3-2】

「地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点」

森川高行 未来社会創造機構教授

共創の場形成支援プログラム (COI-NEXT)

地域共創分野 (本格型)

# 地域を次世代につなぐ マイモビリティ共創拠点

東海国立大学機構 名古屋大学

未来社会創造機構 モビリティ社会研究所 教授

名古屋大学COI-NEXT マイモビリティ共創拠点長、PL

森川高行

morikawa@nagoya-u.jp

2022年12月22日

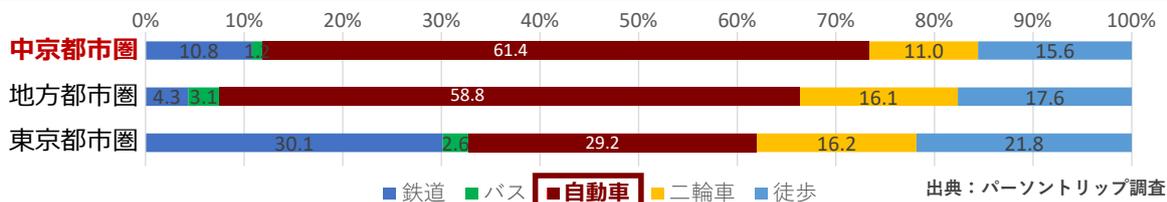


## 解決すべき地域課題：地域の移動問題の構造

地域に住み続けたいが、住み続けられない  
未来がすぐそこまで迫っている

暮らしたいと思わない理由  
第1位が「交通の便が良くない」  
※令和3年度春日井市市民意識調査

マイカーで移動することがあたりまえの東海地方 (及び東京以外のほとんどの地域)



コロナ禍

公共交通の分担率の低下がもたらすもの

人口減少

公共交通の利用者減少

交通事業者の経営悪化

悪循環

公共交通のサービス低下

マイカーを使わない人の移動が極めて不便

- ・ QOLの低下
- ・ 社会活動の機会喪失

自動車の過大利用による社会的コスト増加

- ・ 渋滞・事故・温暖化ガスなどの外部不経済
- ・ 自動車利用の無駄な時間・費用

## 地域拠点ビジョンと拠点名の設定

拠点名：地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点

地域拠点ビジョン

みんなの「行きたい」「会いたい」「参加したい」  
をかなえる超移動社会



3

## ビジョンにおける「超移動社会」とは

拠点名：地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点

地域拠点ビジョン

みんなの「行きたい」「会いたい」「参加したい」  
をかなえる超移動社会



4

# 拠点名における「マイモビリティ」とは

## 拠点名：地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点

地域拠点ビジョン

みんなの「行きたい」「会いたい」「参加したい」  
をかなえる超移動

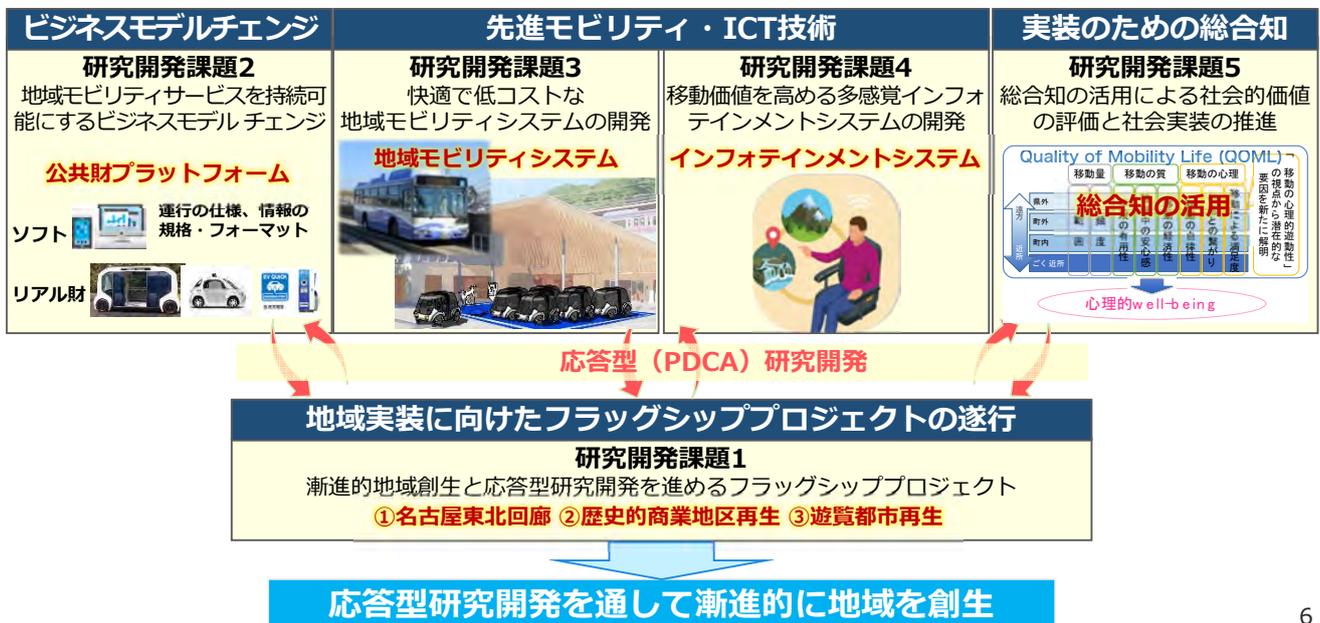
マイモビリティ：移動問題に主体的に関わり、作り上げた移動手段  
「マイカー」から「マイモビリティ」へ



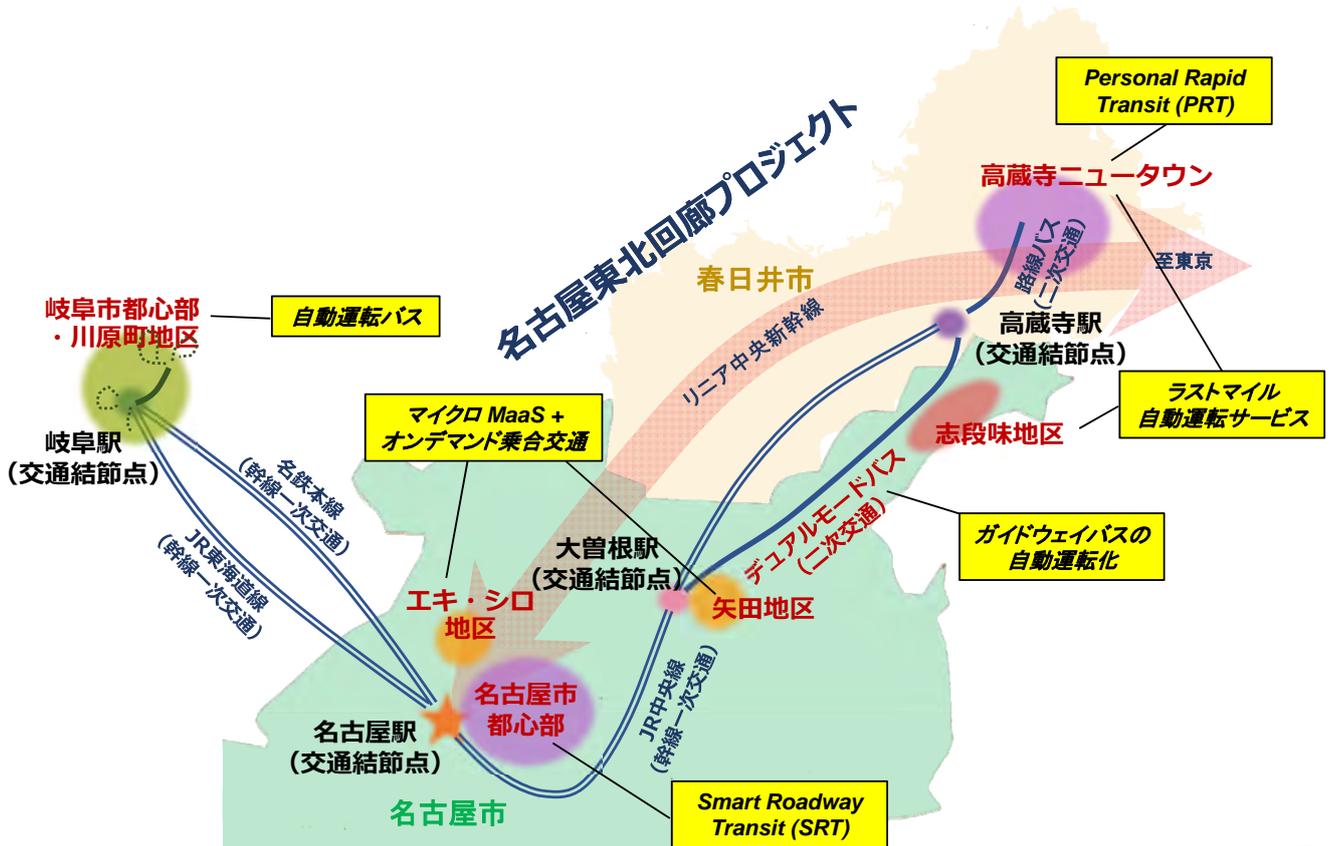
## バックキャストによる研究開発課題の設定

みんなの「行きたい」「会いたい」「参加したい」  
をかなえる超移動社会

マイカーを使わない（運転できない、したくない）  
人にも社会への公平なアクセス機会を！

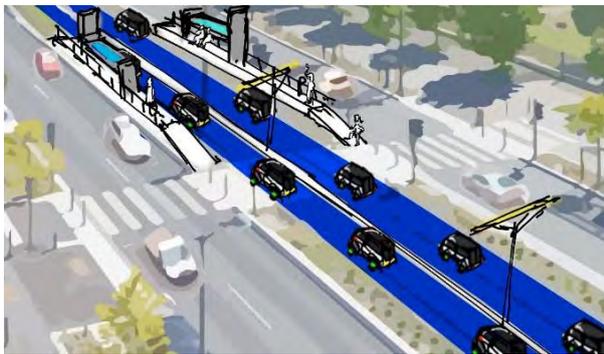


# 本PJで取り組むフラッグシッププロジェクト



## 世界初のドアツードア中量輸送システム

高速・高密度で走行する専用道路部と低速で走行する一般道路部をシームレスに自動運転



専用道路部イメージ



端末でのシェアリングエリアイメージ

(ヤマハ発動機作成)

既存のPRTシステムは限られた空間のみ



米国GLYDWAYS社は構想段階



## 先進的バスシステムの自動運転化及び運行システムの開発

まずは**デュアルモードバスの高架区間で自動運転技術を開発**し、将来的には同様に専用・優先レーンを走る**基幹バス**、都心で導入予定の**SRT**など、他の基幹的なバス路線にも技術展開することを視野に入れた実験を行う。

### 開発項目

デュアルモードバスの高架区間での自動運転技術の開発と研究課題1のフラッグシッププロジェクトへの適用

### 目標

2026年度

デュアルモードバスの平面区間及びSmart Roadway Transit (SRT) 等における自動運転技術の実証

2031年度



ベンチマーク：名古屋市のデュアルモードバスは、2026年度を目標に現運行の維持・増強に必要な30両規模での車両導入を計画しており、全国でいち早く自動運転バスを活用した都市部での基幹的公共交通としての輸送システムの実現が期待できる。名古屋市は道路率が約18%と政令指定都市で最も高く、デュアルモードバスで実現したシステムを横展開するための実証にも適している。

9

## 個人向け自動走行地域モビリティシステムの開発

電動車いすや小型電気自動車等の**パーソナルモビリティを自動走行化**することで、他者の支援を必要とすることなく、自宅（部屋の中）から近隣施設や他の交通モードとの結節点までの移動を可能にする。

### 開発項目

小型モビリティに適した、低消費電力、低価格な自動運転システムの開発と実証

### 目標

2026年度

同乗補助員不要の自動走行を実現するための、自動走行システムの安全性論証

2028年度

個人向け自動移動モビリティの地域実証とサービス実装

2031年度



### ベンチマーク：

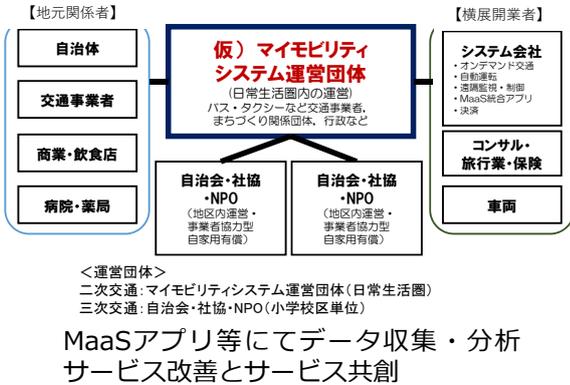
- ・名古屋大学の開発する自動運転システムは他の行動走行に用いられているシステムに比べ消費電力および機器コストが1/2以下であり、さらなる消費電力化が期待できる。
- ・名古屋大学と春日井市の取り組みにおいて、自宅前から発着する自動運転を含む輸送サービス（国内初の事例）を社会実装している。

10

# 地域モビリティを持続可能にするビジネスモデルチェンジ

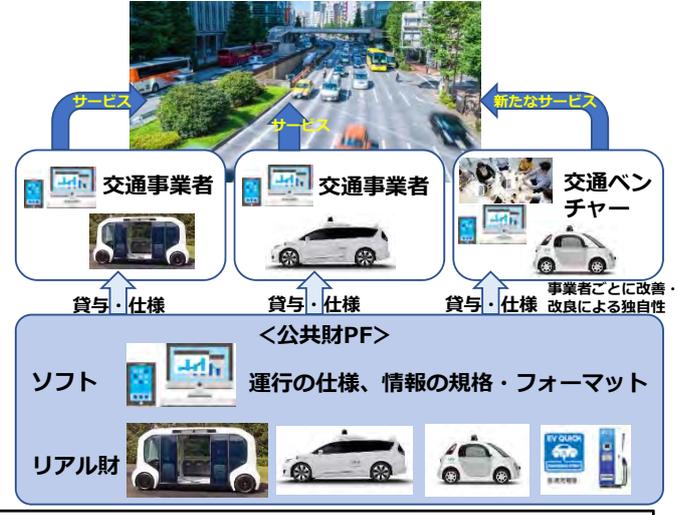
## 地域モビリティの維持と地域活性化

### ① マイモビリティ/マイタウンビジネスモデルの構築



**交通事業者だけに依存せず、二次交通には集客施設、三次交通には住民の積極的参画を促す仕組み確立し、他地域に展開**

### ② リアル財（インフラや車両）を公共財として共有するプラットフォーム（公共財PF）の構築



公共財PFの構築に向け研究会を設立し、理論的妥当性及び適切な運営方法を提案し、東海地方で概念実証。同時に全国展開のための議論を開始

## 地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点の強み

工学、経済学だけでなく、情報、デザイン、法、社会、心理などの研究者による総合知を活かし、実装に必要な技術を有する企業と実装する場となる自治体とアンダーワーカーのもと一体となって移動の課題解決ができる場を構築

工学・経済学

情報学

法学

心理学

メディア映像学

移動の課題解決ができる場

# 【資料3】

COI-NEXTの採択について

【参考資料】

令和4年10月27日リリース資料

2022年10月27日

## JST「共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)」に本学の提案が2件採択 ～社会課題解決のための産学官民共創拠点の形成により、持続可能な社会の実現を目指します～

国立大学法人東海国立大学機構名古屋大学は、未来のあるべき社会像(拠点ビジョン)を策定し、その実現に向けた研究開発と持続的に成果を創出する自立した産学官共創拠点の形成を目指す国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の「共創の場形成支援プログラム」に、以下の2つの提案が採択されましたので、お知らせします。

採択内容の詳細は、P2 以降及び下記の＜参考＞URL をご確認ください。

本学が代表機関として採択されたこれらの提案について、参画機関とともに産学官共創拠点を目指すとともに、名古屋大学未来社会創造機構に新設された Future Society Studio での総合知によるイノベーション創出活動を活かし、大学、企業、自治体、市民とのアンダーワンルーフ体制による社会課題解決ができる新たな拠点を形成し、持続可能な社会の実現を目指します。取材方どうぞよろしくお願いいたします。

- 1.【共創分野 本格型】「セキュアでユビキタスな資源・エネルギー共創拠点」
- 2.【地域共創分野 本格型】「地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点」

＜参考＞・JST 共創の場形成支援プログラム <https://www.jst.go.jp/pf/platform/>  
・JST 本採択にかかるプレスリリース <https://www.jst.go.jp/pr/info/info1584/index.html>



(左から)佐宗章弘副総長、杉山直総長、森川高行教授、松田亮太郎教授、松尾清一東海国立大学機構長

### 問い合わせ先

東海国立大学機構 名古屋大学研究協力部研究組織支援課

TEL:052-789-2806

E-mail: coi-soumu@adm.nagoya-u.ac.jp

## 1.【共創分野 本格型】

### セキュアでユビキタスな資源・エネルギー共創拠点

**ビジョン:**消費から“変環”へ～無理なく楽しく、資源・エネルギーを皆で共創し、資源のない日本を資源国に～

本共創拠点では、「消費から“変環”へ～無理なく楽しく、資源・エネルギーを皆で共創し、資源のない日本を資源国に～」をビジョンに掲げ、従来の生産・消費・廃棄の概念を変革し、未利用だった資源・エネルギーに価値を見出し利活用する“変環(変換×循環)”をキーワードに、市民自らが生産に参加し、資源・エネルギー自立型共創社会を目指します。

**代表機関:**東海国立大学機構名古屋大学

**参画機関:**(大学等)関西学院大学、電気通信大学、名古屋工業大学

(企業等)株式会社アドマテックス、株式会社エヌ・ピー・シー、株式会社大阪ソーダ、有限会社オービタルエンジニアリング、株式会社キャタラー、株式会社クリアライズ、SyncMOF 株式会社、ゼネラルヒートポンプ工業株式会社、中部電力マライズ株式会社、帝国通信工業株式会社、東邦ガス株式会社、東洋アルミニウム株式会社、トヨタ自動車株式会社、NU-Rei 株式会社、株式会社フルヤ金属、ポーライト株式会社、株式会社名城ナノカーボン、リンナイ株式会社、名古屋市



**プロジェクトリーダー** 松田 亮太郎 東海国立大学機構名古屋大学大学院工学研究科教授

#### プロジェクトリーダーからのコメント

最近のパンデミック、国際紛争、頻発する自然災害等によって、資源・エネルギーを国外に大きく依存する日本の課題が、私たちの生活を脅かす身近な問題として顕在化してきています。本拠点では、新しい資源・エネルギーの価値を創造する技術革新とライフスタイルの変革によって、市民全員が資源・エネルギーの生産者になる社会を実現し、ひいては日本を非資源国から資源国に導くことに挑戦します。

## 2.【地域共創分野 本格型】

### 地域を次世代につなぐマイモビリティ共創拠点

ビジョン:みんなの「行きたい」「会いたい」「参加したい」をかなえる超移動社会

本拠点では、『みんなの「行きたい」「会いたい」「参加したい」をかなえる超移動社会』をビジョンに掲げ、マイカーを使わない(運転できない、運転したくない)人にも社会に公平なアクセスができるよう、地域モビリティシステムを実装し、活動機会やビジネスチャンスが増加する持続的な地域創生を目指します。

代表機関:東海国立大学機構名古屋大学

幹事自治体:名古屋市、春日井市

幹事機関:(大学等)東海国立大学機構岐阜大学

(企業等)一般社団法人中部経済連合会

参画機関:(大学等)愛知県立芸術大学、産業技術総合研究所

(企業等)東海旅客鉄道株式会社、名古屋鉄道株式会社、ヤマハ発動機株式会社、株式会社 KDDI 総合研究所、株式会社日建設計総合研究所、岐阜市、愛知県



プロジェクトリーダー 森川高行 東海国立大学機構名古屋大学未来社会創造機構教授

### プロジェクトリーダーからのコメント

ローカル線の存廃が社会問題化しているように、モビリティ(移動性)は地域自体の存廃につながる大きな課題です。東海地方は大都市圏でありながら車依存の地域になっていますが、マイカーを利用できない人や、車を運転したくない人には社会参加の機会が限られてしまっています。本拠点では、このような地域モビリティの課題を、ビジネスモデルチェンジ、先進モビリティ技術、社会実装のための総合知というアプローチで解決することを目指します。自治体、企業、経済団体、研究機関、市民の共創によって、この困難な問題にチャレンジしていきます。

# 【資料4】

1月の行事予定について

行事予定

開催日	行事等の正式名称	概要(場所・時間・講演内容・講演者・入場料など)	連絡先及び内線番号	URL
6月27日(月)～ 1月21日(土)	2022年防災人材育成研修 「防災・減災カレッジ」	場所: 東山キャンパス、他 時間: 9:00または9:30～17:00頃 講演題目: 各講座・コースによる 講演者: 本学減災教員、他 対象: 一般 参加費: 2,000円/1日	あいち・なごや 強靱化共創センター 052-747-6979	<a href="http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/kyoso/college.html">http: //www.gensai.nagoya- u.ac.jp/kyoso/college.html</a>
10月11日(火)～ 12月23日(金)	博物館野外観察園サテライト展示 「実の表皮顕微鏡写真展」	場所: 博物館野外観察園セミナーハウス2階 時間: 10:00～16:00 入場料: 無料	博物館事務室 052-789-5767	<a href="http://www.num.nagoya-u.ac.jp/exhibitions/satellite/#000605">http://www.num.nagoya- u.ac.jp/exhibitions/satellit e/#000605</a>
10月11日(火)～ 5月6日(土)	東海国立大学機構連携企画 博物館第29回特別展 「岐阜大・名古屋大 博物館コラボ展」	場所: 博物館 時間: 10:00～16:00(入館15:30まで) 入場料: 無料	博物館事務室 052-789-5767	<a href="https://www.num.nagoya-u.ac.jp/exhibitions/special/#000593">https: //www.num.nagoya- u.ac.jp/exhibitions/special /#000593</a>
11月4日(金)～	OKB大垣共立銀行高木家文書資料館 常設展	場所: 中央図書館2階OKB大垣共立銀行高木家文書資料館 時間: 8:00～21:30(平日)、8:45～21:30(土日祝) 内容: 本学が所蔵する国指定重要文化財「交代寄合西高木家関係資料」のレプリカを展示 対象: 一般 入場料: 無料	附属図書館情報 サービス課 052-789-3684 service@nul.nagoya- u.ac.jp	<a href="https://www.nul.nagoya-u.ac.jp/event/index.html#jousetu">https://www.nul.nagoya- u.ac.jp/event/index.html#j ousetu</a>
11月9日(水)～ 1月27日(金)	減災館第33回特別企画展 「まちづくりと都市火災」	場所: 減災館 時間: 減災館開館時間 内容: 日本の市街地における過去の大規模火災、及び地震による火災について知り、地域の消防と防災について考える機会を提供 対象: 一般 入場料: 無料	減災連携研究センター 052-789-3468	<a href="http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/">http: //www.gensai.nagoya- u.ac.jp/</a>
12月22日(木)	Campus Concert キャンパスコンサート2022冬	場所: 豊田講堂 時間: 18:00～ 出演者: 関口詩織氏(ピアノ)、橋本由羽氏(ピアノ) 対象: 一般 参加費: 無料	Development Office 052-747-6559	
12月23日(金)	明るい未来社会を創る「名大からの人」 育成プロジェクトSuper Degree Programs(SDPs) 特別講演会第2回 「フィンテックと金融の未来」	場所: 経済学研究科(法・経本館共用館)1階第1講義室、 オンライン 時間: 16:30～18:00 講演者: 岩下直行氏(京都大学公共政策大学院教授) 内容: フィンテックの現状と未来を丁寧に説明 対象: 一般 参加費: 無料	工学研究科 教授 尾上順 j-onoe@energy.nagoya- u.ac.jp	<a href="https://aichi-science.jp/event/detail.html?id=2906">https://aichi- science.jp/event/detail.ht ml?id=2906</a>
12月27日(火)	現代の第一線の研究者による古代哲学 講演シリーズ第4回 川本愛氏「ヘレニズム期の政治思想: 『個人の心の平穩』を超えて」	場所: 法学部2階法学第3講義室、オンライン 時間: 10:30～12:00 講演者: 川本 愛氏(北海道大学出版会) 対象: 一般 参加費: 無料	人文学研究科 准教授 鈴木真 suzuki.makoto.a0@f.mail.n agoya-u.ac.jp	<a href="https://www.hum.nagoya-u.ac.jp/tcs/topics/index.html">https://www.hum.nagoya- u.ac.jp/tcs/topics/index.h tml</a>
1月6日(金)	理学部第一装置開発室公開講座 「3D工房×人工衛星」	場所: 東山キャンパス 時間: 10:00～16:00 講演者: 稲守孝哉(工学研究科准教授)、山口隆正(全学技術センター技術職員)、山岡和貴(宇宙地球環境研究所特任准教授) 内容: 人工衛星を題材とした3D-CADと3Dプリンタのものづくり講座 定員: 若干名(抽選) 対象: 高校生以上 参加費: 無料	理学部第一装置開発室 山口隆正 052-789-2809	3D工房×人工衛星 <a href="https://aichi-science.jp/event/detail.html?id=2825">https://aichi- science.jp/event/detail.ht ml?id=2825</a> 理学部 第一装置開発室 <a href="https://www.indec.nagoya-u.ac.jp/">https: //www.indec.nagoya- u.ac.jp/</a>

1月6日(金)	ジェンダー・リサーチ・ライブラリ 連続セミナー「家族とジェンダー」第7回	場所:ジェンダー・リサーチ・ライブラリ2階レクチャールーム、オンライン 時間:17:00~19:00 講演題目:『結婚の自由』と最小結婚の構想 講演者:久保田裕之氏(日本大学文理学部教授) 定員:20名(対面) 対象:一般 参加費:無料	ジェンダー・リサーチ・ライブラリ grl@adm.nagoya-u.ac.jp	<a href="https://www.grl.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/archives/2036">https://www.grl.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/archives/2036</a>
1月7日(土)、8日(日)	教育学部附属中学校入学検査	場所:教育学部附属中学校・高等学校	教育学部附属中学校 052-789-2680	
1月9日(月・祝)	教育学部附属高等学校入学検査 (特別推薦・二次)	場所:教育学部附属中学校・高等学校	教育学部附属高等学校 052-789-2680	
1月18日(水)	教育学部附属高等学校入学検査 (一般・帰国生徒)	場所:教育学部附属中学校・高等学校	教育学部附属高等学校 052-789-2680	
1月9日(月・祝)	第1回全日本レーザーカッタースポーツ 発明選手権大会	場所:ナショナル・イノベーション・コンプレックス1階Idea Stoa 時間:13:00~17:00 内容:誰も実践していない新たな領域を生み出す中から、遊び心で技術と社会を接続する思考を体得する探求型ワークショッププログラム 「私たちはレーザーカッターでスポーツできるのか」 定員:30名程度 対象:高校生、大学生 参加費:無料	学術研究・産学官連携 推進本部 スタートアップ推進室 052-747-6490	<a href="https://tongali.net/events/laser-cutter-1st/">https://tongali.net/events/laser-cutter-1st/</a>
1月16日(月)	第134回げんさいカフェ	場所:減災館1階減災ギャラリー、オンライン(zoomウェビナー) 時間:18:00~19:30 講演題目:「温故知新で本気で地震対策を！」 講演者:福和伸夫(本学名誉教授) 定員:40名(対面)、500名(オンライン) 対象:一般 参加費:無料	減災連携研究センター 052-789-3468	<a href="http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/?p=22465">http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/?p=22465</a>
1月16日(月)	第11回シンクロトン光研究センター シンポジウム	場所:野依記念学術交流館2階カンファレンスホール、オンライン 時間:13:00~18:00 対象:一般 参加費:無料	シンクロトン光 研究センター 052-747-6562 symp2022@nusr.nagoya-u.ac.jp	<a href="https://nusr.nagoya-u.ac.jp/?page_id=544">https://nusr.nagoya-u.ac.jp/?page_id=544</a>
1月18日(水)	2022年度第13回B人セミナー	場所:オンライン 時間:14:00~16:00 講演題目:「大学院生向け『人生とお金の知恵』-40歳まで、必ず役に立つ金融リテラシー」 講演者:竹内俊久氏(日本銀行情報サービス局企画役) 対象:大学院生、ポスドク 参加費:無料	博士課程教育推進機構 キャリア教育室 hakase-career@adm.nagoya-u.ac.jp	<a href="https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/information/bsemi2022_13/">https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/information/bsemi2022_13/</a>
1月21日(土)、 1月28日(土)、 2月4日(土)	2022年度第3回東海国立大学機構航空 宇宙研究教育拠点人材育成講演会	場所:オークマ工作機械工学館2階202講義室(初回のみ)、オンライン 時間:13:00~14:30 講演者:田辺安忠氏(宇宙航空研究開発機構) 参加費:無料	東海国立大学機構 航空宇宙生産技術開発 センター ipteca-thers_event@gifu-u.ac.jp	<a href="https://ipteca.gifu-u.ac.jp/event/687-2/">https://ipteca.gifu-u.ac.jp/event/687-2/</a>
1月23日(月)	第184回防災アカデミー	場所:減災館1階減災ホール、オンライン(zoomウェビナー) 時間:18:00~19:30 講演題目:『火山学を火山防災に活かす』ということ 講演者:井村隆介氏(鹿児島大学共通教育センター准教授) 定員:40名(対面)、500名(オンライン) 対象:一般 参加費:無料	減災連携研究センター 052-789-3468	<a href="http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/?p=22540">http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/?p=22540</a>
1月28日(土)	東海国立大学機構連携企画博物館 第29回特別展関連講演会	場所:博物館3階講義室、オンライン 時間:13:30~15:00 講演題目:「恐竜から鳥類へ、胸部骨格の強度から考える羽ばたき運動の起源」 講演者:明田卓巳(環境学研究科博士後期課程1年生) 定員:50名(対面)、200名(オンライン) 参加費:無料	博物館事務室 052-789-5767	<a href="https://www.num.nagoya-u.ac.jp/events/satellite/#000619">https://www.num.nagoya-u.ac.jp/events/satellite/#000619</a>

2月11日(土)	東海国立大学機構連携企画博物館 第29回特別展関連博物館コンサート 「標本と楽しむピアノトリオ」	場所:博物館2階展示室 時間:14:00~15:00 出演:エミリーエ・ピアノトリオ(平山晶子氏、二川理嘉氏、 杉山知子) 定員:50名(WEB事前申込制) 参加費:無料	博物館事務室 052-789-5767	<a href="https://www.num.nagoya-u.ac.jp/events/concert/#000623">https://www.num.nagoya-u.ac.jp/events/concert/#000623</a>
2月20日(月)、 21日(火)	The 5th KMI International Symposium (KMI2023) on "Quest for the Origin of Particles and the Universe"	場所:ES総合館1階ESホール	素粒子宇宙起源研究所 (KMI) KMI2023@kmi.nagoya- u.ac.jp	<a href="https://www.kmi.nagoya-u.ac.jp/workshop/kmi2023/">https://www.kmi.nagoya-u.ac.jp/workshop/kmi2023/</a>
2月20日(月)	全学同窓会講演会	場所:オンライン(Zoomウェビナー) 時間:16:30~18:00 講演題目:「2050年カーボンニュートラルを目指して」 講演者:内山田竹志氏(トヨタ自動車株式会社取締役会長) 定員:500名(2/19申込締切) 対象:一般 参加費:無料	全学同窓会事務局 052-783-1920 nual-jimu@adm.nagoya- u.ac.jp	<a href="https://www.nual.nagoya-u.ac.jp/lecture2022_uchiyamada.html">https://www.nual.nagoya-u.ac.jp/lecture2022_uchiyamada.html</a>
3月4日(土)	東海国立大学機構連携企画博物館 第29回特別展関連講演会	場所:博物館3階講義室、オンライン 時間:13:30~15:00 講演題目:「木曾馬の保存?木曾馬の保全?」 講演者:高須正規氏(岐阜大学応用生物科学部准教授) 定員:50名(対面)、200名(オンライン)(WEB事前申込制) 参加費:無料	博物館事務室 052-789-5767	<a href="http://www.num.nagoya-u.ac.jp/events/satellite/#000624">http://www.num.nagoya-u.ac.jp/events/satellite/#000624</a>
3月27日(土)~ 31日(金)	理系大学生のための 「太陽研究最前線体験ツアー」	場所:宇宙地球環境研究所、他 定員:理系学部(教育学部含む)の大学生(2、3年生を優先) 参加費:9,000円	sun_tour@kwasan.kyoto- u.ac.jp	<a href="https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/news/event/2022/20221207-2.html">https://www.isee.nagoya-u.ac.jp/news/event/2022/20221207-2.html</a>



東海国立大学機構



# 岐阜大・名古屋大 博物館コラボ展

お宝  
集結!

東海国立大学機構 連携企画  
名古屋大学博物館 第29回特別展



2022.10.11火 → 2023.5.6土

会場 名古屋大学博物館 入館無料  
開館時間 10:00~16:00(入場15:30まで)  
休館日 日・月曜日(12/29~1/3 1/14・15は休館)

Nagoya University Museum 〒464-8601 名古屋市中種区不老町  
NUM 名古屋大学博物館 TEL052-789-5767 HP www.num.nagoya-u.ac.jp  
主催:名古屋大学博物館 共催:岐阜大学 企画協力:岐阜大学図書館学術アーカイブズ企画運営室

加納藩小川家甲冑  
(展示2023年2月18日(土)まで)

2020年4月、岐阜大学と名古屋大学は「東海国立大学機構」という法人のもとで手を結び、新たなスタートを切りました。本特別展では、両校で使われてきた学術標本コレクション（歴史、医学、動物、植物）を展示紹介し、地域とともに、学術の発展および生活の豊かさにつながるような知の創成の機会となることを目指します。



関連イベント (WEB事前申込制) 参加無料

<http://www.num.nagoya-u.ac.jp/exhibitions/special/20221011.html>

### 講演会「532枚の人体解剖掛図が私たちに語りかけること」

日時: 2022年12月10日(土) 13:30~15:00

講師: 千田隆夫(岐阜大学医学系研究科・教授)

対面: 50名/ウェビナー200名(申込開始11/8(火)13:00-)

会場: 名古屋大学博物館講義室(対面)

### 木曾馬ふれあい体験会

日時: 12月17日(土) ※時間帯はHPでご確認ください

会場: 名古屋大学博物館 西側広場

### 講演会「恐竜から鳥類へ、胸部骨格の強度から考える羽ばたき運動の起源」

日時: 2023年1月28日(土) 13:30~15:00

講師: 明田卓巳(名古屋大学大学院環境学研究科・博士後期課程1年)

対面: 50名/ウェビナー200名(申込開始12/13(火)13:00-)

会場: 名古屋大学博物館講義室(対面)

### 博物館コンサート

日時: 2月11日(土) 14:00~15:00

出演: エミリーエ・ピアノトリオ

平山晶子(ピアノ・岐阜大卒) 二川理嘉(ヴァイオリン・愛知県立芸大卒) 杉山知子(チェロ・愛知県立芸大卒)

対面: 50名(申込開始1/10(火)13:00-)

会場: 名古屋大学博物館

### 講演会「木曾馬の保存? 木曾馬の保全?」

日時: 3月4日(土) 13:30~15:00

講師: 高須正規(岐阜大学 応用生物科学部・准教授)

対面: 50名/ウェビナー200名(申込開始1/31(火)13:00-)

会場: 名古屋大学博物館講義室(対面)

### イベント「木曾馬とともに生きる楽しみを考えてみよう~みなさんの声から~」

日時: 4月29日(土) 13:30~14:30

講師: 高須正規(岐阜大学 応用生物科学部・准教授)

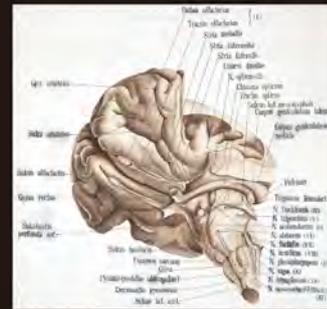
梅村綾子(名古屋大学博物館・特任助教)

対面: 20名(申込開始3/28(火)13:00-)

会場: 名古屋大学博物館展示室



百万塔を3Dプリンタで再現し、ハンズオン展示



人体解剖掛図



ムラージュ



卵殻標本



ネコノメソウの仲間(画像と模型)

## 名古屋大学博物館

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 052-789-5767

名古屋市営地下鉄名城線「名古屋大学駅」2番出口より徒歩すぐ

※公共交通機関をご利用ください

[www.num.nagoya-u.ac.jp](http://www.num.nagoya-u.ac.jp)

イベントの詳細・実施については、当館および当館ホームページにてご確認ください。



# 11月9日(水)～1月27日(金) 第33回特別企画展



名古屋市消防局提供



糸魚川市防火水塔  
マンホール



酒田市立資料館提供

1972年千日デパート火災から50年、  
1982年ホテルニュージャパン火災から40年  
が経ちました。

関東大震災、阪神・淡路大震災、東日本大  
震災など自然災害時にも大規模火災が発生し  
ています。

1976年酒田大火、2016年糸魚川大規模火  
災など市街地における大規模火災も生じてい  
ます。

建物の不燃化、火災報知器設置義務化や製  
品の安全機能向上、消防装置などの防火技術  
開発が進む一方で、既存不適格建物や空き家、  
消防の広域化や水道のダウンサイジングなど  
の課題も見えてきています。

今一度、市街地における火災について知り、  
地域の消防と防災について考えてみましょう。

## まちづくりと都市火災



名古屋市消防局提供



人と防災未来センター提供



名古屋大学内受水槽



名古屋市消防局提供

 **減災館**

Disaster Mitigation Research Building

減災連携研究センター

【監修】名古屋大学減災連携研究センター 准教授 平山修久

【協力】糸魚川市、酒田市立資料館、人と防災未来センター  
名古屋市消防局、名古屋市上下水道局

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 Tel: 052-789-3468 Fax 052-789-5023

開館時間：13:00-16:00 ※完全予約制 休館日：日祝・月・火曜日、最終土曜日

※天候、行事等の諸事情により上記以外でも急遽休館になる場合がございます。

※最新の情報は HP にてご確認ください。http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/





愛知県立芸術大学 名古屋大学

# Campus Concert

キャンパスコンサート2022冬



ピアノ 関口 詩織



ピアノ 橋本 由羽

- ・ソレル／ピアノ・ソナタ 変ニ長調作品88
- ・ドビュッシー／《版画》
- ・ストラヴィンスキー／ピアノ・ソナタ (1924) より第1楽章
- ・ドビュッシー／《ピアノのために》
- ・アンダーソン／《そりすべり》

※曲目は予告なく変更する場合がございます

## 2022年12月22日(木)

会場 名古屋大学豊田講堂ホール

18:00開演(17:30開場)

入場無料・要予約

※4名まで同時申込可・完全座席指定(座席の選択不可)

※申込が多数になりました場合、早めに締め切らせていただく場合がございます。予めご了承ください。後日ご入力いただいたメールアドレス宛に整理番号をお送りいたします。

以下のリンクまたは下記QRコードよりお申し込みください。

<https://forms.office.com/r/a7wytDD4bx>  
申込締切：12月9日(金)

♪お問合せ♪

名古屋大学Development Office  
052-747-6559 (内線6559)



ピアノ

橋本 由羽

Yuha HASHIMOTO



1999年大阪府生まれ。

5才よりピアノを始め、ショパンの『英雄ポロネーズ』を弾きたいという夢から唯一通い続けた習い事だった。大学在学時はラフマニノフの音楽に惚れ込みソロ曲から室内楽曲まで幅広く触れる。

2020年度青山文化財団奨学生。現在はドビュッシーを中心に研究している。

2020年NHKのFMシアター《アンちゃんといっしょ、未来の家族》にてBGM演奏を担当。弦楽器とのアンサンブルを好み、チェロやヴァイオリンのリサイタルの伴奏者を務めたり、鍵盤ハーモニカを用いたピアノデュオで幼稚園の訪問演奏やライブなど、様々な演奏活動を行なう。

趣味はファッションとお酒でそれらと音楽を掛け合わせたイベントを企画することが目標。現在は愛知県立芸術大学の修士課程にて、イリーナ・チュコフスカヤ氏の下で学ぶ。

ピアノ

関口 詩織

Shiori SEKIGUCHI



長野県飯田高等学校を経て愛知県立芸術大学音楽学部ピアノコース卒業。現在同大学院2年次在学中。

2016年、イタリア・ミラノにてV.バルツァーニ氏のコンチェルトマスタークラス修了。現地のオーケストラと共演し、ピアノ科進学を決意した。大学在学中、定期演奏会、室内楽の楽しみ等の選抜演奏会に出演。

VI international music competition in Cyprus 6 age group 1位及び特別賞、第6回ベートーヴェン国際ピアノコンクールアジアD部門第5位及びテンポプリモ賞受賞。大学3年次よりイリーナ・チュコフスカヤ氏に師事し、ショパン作品を中心に演奏研究している。ほか、管楽器や歌の伴奏、鍵盤ハーモニカやトイピアノを用いた演奏に積極的に取り組む。大学院ではストラヴィンスキーについて研究。山を眺めてぼーっとすることが好き。

### 新型コロナウイルス感染拡大予防への取り組みと 主催公演ご来場の皆様へのお願い

- ご来場前に体調チェックをお願いいたします。以下の事項に該当されるお客様はご観賞をお控えいただきますようお願い申し上げます。
  - ※ 37.5℃以上の発熱やのどの痛み、咳、強いだるさ（倦怠感）、息苦しさなどの風邪症状、味覚障害や嗅覚障害、体調に不安がある方
  - ※ 新型コロナウイルス感染症の感染者またはその濃厚接触者の方
- 楽屋口等での出演者の入り待ち・出待ち、面会、花束等の受け渡しはご遠慮いただきますようお願いいたします。
- 4名まで同時申込可・完全座席指定（座席の選択不可）
- 申込が多数になりました場合、早めに締め切らせていただく場合がございます。予めご了承ください。

会場 名古屋大学 東山キャンパス 豊田講堂ホール



地下鉄名城線「名古屋大学」駅2番出口より徒歩すぐ。  
※公共交通機関をご利用ください。

# 明るい未来社会を創る「名大からの人」育成プロジェクト Super Degree Programs (SDPs)

## SDPs特別講演会

(参加費無料・どなたでもご参加いただけます)

第1回：11月25日（金）

「心にひびくデザイン ～未来を拓くニューロデザイン～」

牧敦 主管研究員（日立製作所 基礎研究センター）

第2回：12月23日（金）

「フィンテックと金融の未来」

岩下 直行 教授（京都大学）

第3回：3月1日（水）

「アートの発想で、創造的市民を育成する」岡田 猛 教授（東京大学）

第4回：未定

## 次回講演会

第2回 12月23日（金）16:30-18:00

経済学部・経済学研究科（法・経本館共用館）第1講義室（ハイブリット開催）

### 「フィンテックと金融の未来」

京都大学 公共政策大学院  
岩下 直行 教授



フィンテックという用語が金融に変革をもたらすものとして注目され、メディアを賑わしてから数年が経った。キャッシュレス決済は普及したものの、現在でも、日本の金融業界では対面型の支店営業が主流であり、金融のデジタル化は進展していない。今後、金融のデジタル化は実現するのか。デジタル通貨は普及するのか、暗号通貨、DeFi、web3.0はどうなるのか。フィンテックの現状と未来を丁寧に説明します。

お申込みは[こちら](#)



### ○ SDPsについて

人類が地球で暮らし続けていくために、2030年までに達成すべき17の目標としてSDGsがあります。その先に続く未来を考えた時、例えばエネルギー問題であれば、単に工学的な技術開発だけでなく環境学・経済学・法学・社会学・哲学など様々な学術分野を取り込んで問題解決を図る必要があります。そこでSDPsでは、2030年目標であるSDGsの視点を踏まえつつ、2050年のエネルギー・社会問題を見通せる眼力と問題抽出・解決能力の基礎スキルを備えた人財を育成します。



パンフレットは[こちら](#)

お問合せ：経済学研究科 教授 園田 正 (sonoda@soec.nagoya-u.ac.jp)  
法学研究科 教授 矢野 昌浩 (myano@law.nagoya-u.ac.jp)  
工学研究科 教授 尾上 順 (j-onoe@energy.nagoya-u.ac.jp)

現代の第一線の研究者による古代哲学講演シリーズ第4回

# ヘレニズム期の政治思想： 「個人の心の平穩」を超えて

講師：川本愛氏（北海道大学出版会）

日時：12月27日（火）10:30～12:00

会場：名古屋大学東山キャンパス法学部第3講義室

\* 対面とオンライン双方向のハイブリッドで実施します。オンラインで参加されたい方は、以下にご連絡下さい（「★」を「@」に置き換えてください）。

鈴木真（suzuki.makoto.a0★f.mail.nagoya-u.ac.jp）

講演要旨→



超域文化社会センター後援  
科学研究費補助金（基盤（C））「人口倫理の原理的探究（21K00030）」  
（研究代表者：鈴木真）



# 3D工房×人工衛星

2023年1月6日

実習講座

3D-CAD, 3Dプリンタ

要事前申込

名古屋大学 超小型人工衛星開発メンバーが登壇します

主な登壇者：名古屋大学 稲守孝哉 准教授 (MAGMAROプロジェクト最高責任者)  
名古屋大学 山口隆正 技術職員 (MAGMARO構造開発者)  
名古屋大学 山岡和貴 特任准教授 (SONGSプロジェクト最高責任者)

MAGMARO：超小型人工衛星CubeSat名古屋大学1号機 2022年10月打上げ予定

編隊飛行技術試験衛星

SONGS：太陽中性子ガンマ線分光装置 打上げを目指し開発中

見学

・名古屋大学 理学部 第一装置開発室 人工衛星構造開発スペース  
・名古屋大学の全学の3Dプリンタ (理学部第一装置開発室, 中央図書館)  
・デザインエリア

新型コロナウイルス感染症の感染拡大 状況によりウェブセミナーとすも場合や、やむを得ない事情等により 登壇者等が変更する場合があります



名古屋大学  
NAGOYA UNIVERSITY



理学部 第一装置開発室  
Instrument Development Center since 1944

# 家族とジェンダー

第7回

## 1/6 (金) 17:00 - 19:00

# 「結婚の自由」と 最小結婚の構想」

**講師：久保田裕之氏** 日本大学文理学部教授

プロフィール：専門は家族社会学、福祉社会学、政治哲学。家族社会学、福祉社会学、政治哲学。著書に、『他人と暮らす若者たち』（集英社新書）、『家族を超える社会学——新たな生の基盤を求めて』（共著、新曜社）。訳書に、スーザン・オーキン著『正義・ジェンダー・家族』（共訳、岩波書店）、エヴァ・キティ著『愛の労働あるいは依存とケアの正義論』（共訳、白澤社）など。

**司会：川口遼** 名古屋大学  
ジェンダーダイバーシティセンター特任助教



開催方法

### ハイブリッド形式（変更の可能性あり）

対面：名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ2Fレクチャールーム  
オンライン：Zoom

対象

どなたでもご参加いただけます。（参加費無料、要事前申込）

参加方法

1月4日までに下記のURLまたはQRコードから、参加方法（対面かオンラインか）を選択し、お申し込みください。オンライン参加方法は、前日にメールでご案内します。

<https://ssl.form-mailer.jp/fms/34320639761440>

お問い合わせ

名古屋大学ジェンダー・リサーチ・ライブラリ  
[grl@adm.nagoya-u.ac.jp](mailto:grl@adm.nagoya-u.ac.jp)



12.11(日) 12.18(日) 1.9(月)

“おもしろい!”を発明する思考と

プロトタイプの世界への招待



# LASER CUTTER SPORTS

IDEA STOA  
INCEPTION PROGRAM

レーザーカッタースポーツ選手権大会

## 全日本

私たちはレーザーカッターで  
スポーツできるのか



# レーザーカッタースポーツ

## 選手権大会



発明を  
しよう

# NO.1!

Idea Stoa

### 企画主旨

世の中にはたくさんのモノで溢れています。移動を便利にするもの、食事に彩りを与えてくれるもの、そして夢を見せてくれるもの。価値観は時代によって変化します。これからの時代の新しい“おもしろい!”は一体どんなものなのか、その要素を探求し、構築する3日間のワークショップを開催します。

共催: Tongali 主催: 名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部 協力: FabCafe nagoya スタートアップ推進室 [ideastoa@aip.nagoya-u.ac.jp](mailto:ideastoa@aip.nagoya-u.ac.jp)

新たな競技を共に生み出す仲間を募集します。私たちが目指すのは「レーザーカッターで人々に笑いと感動を」e-Sportsの次なる潮流、デジタルファブリケーションマシンによるD-Sportsが花開く瞬間に立ち会いませんか。

全日本レーザーカッタースポーツ発明選手権大会運営委員会より

(講師)



大和 比呂志

Signal compose.inc 代表、  
音楽家、エンジニア

IT会社、米国ベンチャー企業などでの職務経験を経て、30代半ばにデザイン会社)を起業。初代CEO、テクニカルディレクターを務める。

情報科学芸術大学院大学[IAMAS]にて、リズムに関する研究で修士(メディア表現)を取得。2019年4月よりシグナル・コンポーズ株式会社を主幹。同年9月から慶応義塾大学SFC後期博士課程にも所属。YouFab Global Creative Award 2019 Finalist (visible / hidden / re-visible)

情報科学芸術大学院大学特別非常勤講師  
慶応義塾大学SFC非常勤研究員



森田了

Signal compose.inc、  
作曲家

1995年生まれ、東京都出身。東京音楽大学作曲指揮専攻(作曲)卒業。同大学音楽学課程修了。情報科学芸術大学院大学[IAMAS]メディア表現専攻修了。作曲のみならずコンサートのフライヤーデザイン、イラスト制作、イベント企画など多方面で活動する。大学在学中からインドネシアの民族音楽「ガムラン」の演奏・研究も行っており、ガムランから着想を得た音楽作品「Sar/on rails」を制作した。

### Signal compose inc.

専門的技術・知識・独創性を持つメンバーによって駆動するクリエイティブチーム。音楽・映像・ソフトウェア・ハードウェアといった各々の感興から、世界をちょっとずつ豊かにしていきます。

(モデレーター・ファシリテーター)



斎藤 健太郎

FabCafe Nagoya  
community manager、  
東山動物園くらぶ 理事、  
Prime numbers syndicate  
Fiction implementor

名古屋における人ベースのクリエイティブの土壌を育むためにコミュニティマネージャーとしてFabCafe Nagoyaに立ち上げから携わる。電子工学をバックボーンに持ち科学技術への造詣が深い他、デジタルテクノロジー、UXデザインや舞台設計、楽器制作、伝統工芸、果ては動物の生態まで幅広い知見で枠にとらわれない「真面目に遊ぶ」体験づくりを軸とした多様なプロジェクトに携わる。インドカレーと猫が好き。

DAY

1

## “おもしろさを形作る”世界観づくり / Deconstruction Design フィギュア・レーザーカッター

DECONSTRUCTION = 脱構築の考えを用いてレーザーカッターが持つ「ものづくりのための道具」という意味を取り払い、フィギュアスケートと融合させていくデザインワークを行います。第一回運営委員会の開催です。

インストール

デザインワーク

プロトタイピング

おもしろさをつくるコツ 脱構築的アナロジー探索 一度みんなでやってみる

日時:2022年12月11日(日) 時間:13:00~17:00

会場:名古屋大学NIC館1階IdeaStoa

対象:高校生・大学生・大学院生・教職員・社会人



DAY

2

## 世界観を補強する / 俺たちの考える最強の フィギュア・レーザーカッター

1発ギャグで終わらせないために、フィギュア・レーザーカッターの世界の背景を支えるコレオグラフィを考えます。ゲームにおけるユーザーを惹きつけ続ける工夫などを参照しながら、フィギュア・レーザーカッターという競技の世界をプロトタイプを繰り返しながら作り上げます。

インストール

デザインワーク

プロトタイピング

世界観をつくり、  
補強すること

レーザーカッターの  
コレオグラフィを考える

作って動かすことで  
見えてくる

日時:2022年12月18日(日) 時間:13:00~17:00

会場:名古屋大学NIC館1階IdeaStoa

対象:高校生・大学生・大学院生・教職員・社会人



DAY

3

## 世界に知らしめる / 「第一回国際フィギュア・ レーザーカッター選手権」開催

自らが心血注いで作った競技と演技をお披露目する、国際フィギュア・レーザーカッター選手権を開催します。レーザーカッター フィギュアスケートの問いの答えがどの様になったのかを皆さんに披露する会となります。

多くの人の目に晒して晒して多角的な意見を集め、豊かさ、文化的な喜びをレーザーカッターによってオーディエンスにもたらせたかを測ります。

※DAY3はワークショップへ参加していない方でも聴講可能です。  
ぜひ、フィギュアレーザーカッターを鑑賞し、感想を聞かせてください

日時:2023年1月9日(月) 時間:13:00~17:00

会場:名古屋大学NIC館1階IdeaStoa

対象:高校生・大学生・大学院生・教職員・社会人



IdeaStoa



注意事項

- 連続した内容を扱うため3日間連続しての参加が好ましいですが、単日での参加も可能です。
- ワークショップに参加する上でレーザーカッターやデジタルツールの技術的知識は不要です。適宜スタッフによるフォローをおこないます。一味違うおもしろいことをやってみたいという人や、レーザーカッターに興味はあるけど何に使ったら良いかわからないという人はこの機会に新たな一歩を踏み出しましょう
- 条件の合う参加学生には、今後、IdeaStoa学生スタッフをお願いする場合があります



本気で遊び、つくり上げよう。俺たちのフィギュア・レーザーカッター



Gen Science Café Hybrid



げんさいカフェ  
【第134回】

# 温故知新で本気で地震対策を！

Guest 地震工学者 **福和 伸夫 さん**

名古屋大学名誉教授

2023. 1. 16 (月) 18:00 ~ 19:30

名古屋大学減災館 1階減災ギャラリー・オンライン



減災連携研究センターの研究者と市民とが対話する月1回のサイエンス・カフェ。毎年1月は福和さんにその年の展望をお話いただいています。2023年は関東大震災から100年の年ですが、昭和三陸地震から90年、鳥取地震から80年、日本海中部地震から40年、北海道南西沖地震から30年、十勝沖地震から20年の年でもあります。これらの地震を振り返りながら、これからの減災をともに考えていきましょう。今回も会場（定員40名）とオンライン併用のハイブリッド開催です。

◆開催形式：現地参加（事前申込制・限定40人）  
+zoom ウェビナー（オンライン）

◆参加費：無料

◆申込方法：下記 URL または QR コードよりお申込みください。  
ご登録いただきましたメールアドレス宛に参加方法をご案内します。

◆申込 URL：<https://forms.gle/6xkcACyVa3L9HJFV7>

◆申込期限：2023年1月16日（月）正午まで

ご注意：

- ・マスク着用等感染対策にご協力をお願いいたします。
- ・緊急事態宣言等により完全オンライン開催に変更する場合がありますのでご了承ください。

主催：名古屋大学減災連携研究センター

問い合わせ：げんさいカフェ担当

MAIL: [gencafe@gensai.nagoya-u.ac.jp](mailto:gencafe@gensai.nagoya-u.ac.jp)

<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/?p=87>



Facilitator 隈本 邦彦さん

江戸川大学教授／

名古屋大学減災連携研究センター客員教授

げんさいカフェは、「防災対策に資する南海トラフ地震調査研究プロジェクト」との共催で実施しています。

# 11th NUSR SYMPOSIUM

2023年1月16日(月) 13:00 ~ 18:00 (12:00受付開始)

於:名古屋大学 野依記念学術交流館・カンファレンスホール

主催:名古屋大学シンクロトロン光研究センター (NUSR)、名古屋大学放射光利用者懇談会

協賛: あいちシンクロトロン光センター、SPring-8ユーザー協同体 (SPRUC)

PF-ユーザーアソシエーション (PF-UA)、UVSOR利用者懇談会 (UUN)

光科学イノベーションセンター(PhoSIC)、立命館大学SRセンター、

佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター(SAGA-LS)、

広島大学放射光科学研究センター(HiSOR)、日本放射光学会

## プログラム

13:00 ~ 13:15 **開会挨拶**  
名古屋大学理事・統括副総長 **門松健治**  
名古屋大学理事・副総長 **佐宗章弘**  
名古屋大学 工学部長・工学研究科長 **宮崎誠一**

13:15 ~ 13:40 **水素キャリア製造プロセスの省貴金属化に資する  
単原子合金触媒の創製**  
名古屋大学大学院 工学研究科 応用物質化学専攻 **織田 晃**

13:40 ~ 14:05 **放射光を用いた蓄電池反応解析**  
立命館大学 生命科学部 応用化学科 **折笠 有基**

14:05 ~ 14:30 **XANES測定法による医薬品原薬・製剤の解析**  
東邦大学 薬学部 薬剤学教室 **野口 修治**

14:30 ~ 15:15 **ポスター発表A**

15:15 ~ 16:00 **ポスター発表B**

16:00 ~ 16:25 **放射光を利用した土壤に含まれる元素の分析**  
東京農工大学大学院 農学研究院 **橋本 洋平**

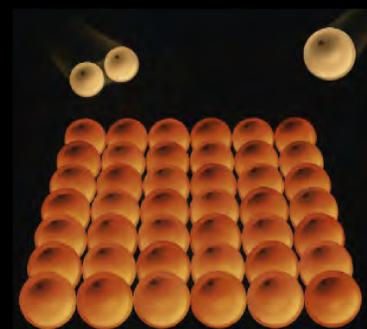
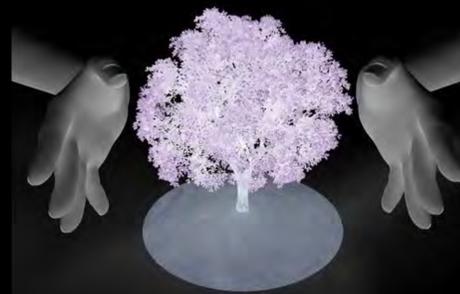
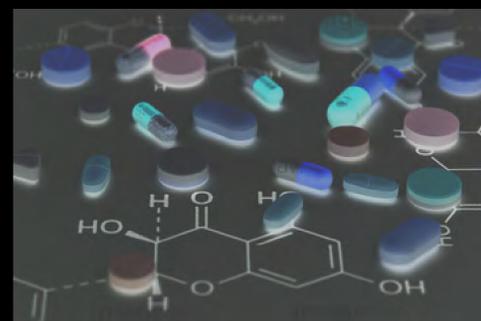
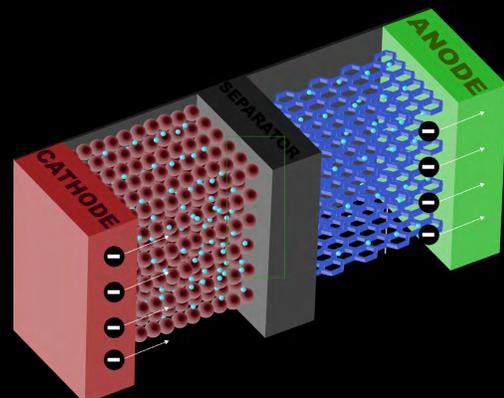
16:25 ~ 16:50 **無機結晶の局所構造制御に立脚した陰イオンの吸着分離**  
東京大学 大学院 理学系研究科 化学専攻 **簾 智仁**

16:50 ~ 17:15 **あいちSR硬X線XAFSビームラインBL11S2での  
2D/3D XAFS測定実現の為の整備状況**  
名古屋大学 シンクロトロン光研究センター **田淵 雅夫**

17:15 ~ 17:40 **光源加速器の現状**  
名古屋大学 シンクロトロン光研究センター **高嶋 圭史**

17:40 ~ 17:55 **利用者懇談会**

17:55 ~ 18:00 **閉会挨拶**



Periodic Table of the Elements

1 H Hydrogen	2 He Helium																
3 Li Lithium	4 Be Beryllium	5 B Boron	6 C Carbon	7 N Nitrogen	8 O Oxygen	9 F Fluorine	10 Ne Neon										
11 Na Sodium	12 Mg Magnesium	13 Al Aluminum	14 Si Silicon	15 P Phosphorus	16 S Sulfur	17 Cl Chlorine	18 Ar Argon										
19 K Potassium	20 Ca Calcium	21 Sc Scandium	22 Ti Titanium	23 V Vanadium	24 Cr Chromium	25 Mn Manganese	26 Fe Iron	27 Co Cobalt	28 Ni Nickel	29 Cu Copper	30 Zn Zinc	31 Ga Gallium	32 Ge Germanium	33 As Arsenic	34 Se Selenium	35 Br Bromine	36 Kr Krypton
37 Rb Rubidium	38 Sr Strontium	39 Y Yttrium	40 Zr Zirconium	41 Nb Niobium	42 Mo Molybdenum	43 Tc Technetium	44 Ru Ruthenium	45 Rh Rhodium	46 Pd Palladium	47 Ag Silver	48 Cd Cadmium	49 In Indium	50 Sn Tin	51 Sb Antimony	52 Te Tellurium	53 I Iodine	54 Xe Xenon
55 Cs Cesium	56 Ba Barium	57-71 La-Lu Lanthanides	72 Hf Hafnium	73 Ta Tantalum	74 W Tungsten	75 Re Rhenium	76 Os Osmium	77 Ir Iridium	78 Pt Platinum	79 Au Gold	80 Hg Mercury	81 Tl Thallium	82 Pb Lead	83 Bi Bismuth	84 Po Polonium	85 At Astatine	86 Rn Radon
87 Fr Francium	88 Ra Radium	89-103 Ac-Lr Actinides	104 Rf Rutherfordium	105 Db Dubnium	106 Sg Seaborgium	107 Bh Bohrium	108 Hs Hassium	109 Mt Meitnerium	110 Ds Darmstadtium	111 Rg Roentgenium	112 Cn Copernicium	113 Nh Nihonium	114 Fl Flerovium	115 Mc Moscovium	116 Lv Livermorium	117 Ts Tennessine	118 Og Oganesson
109 Ac Actinium	110 Th Thorium	111 Pa Protactinium	112 U Uranium	113 Np Neptunium	114 Pu Plutonium	115 Am Americium	116 Cm Curium	117 Bk Berkelium	118 Cf Californium	119 Es Einsteinium	120 Fm Fermium	121 Md Mendelevium	122 No Nobelium	123 Lr Lawrencium			



お問い合わせ先 **NUSRシンポジウム事務局**  
TEL: 052-747-6562 e-mail: [symp2022@nusr.nagoya-u.ac.jp](mailto:symp2022@nusr.nagoya-u.ac.jp)  
[https://nusr.nagoya-u.ac.jp/?page\\_id=544](https://nusr.nagoya-u.ac.jp/?page_id=544)  
ポスター講演申込 (12月末〆切)、参加申込 (1/10〆切) 受付中  
\*詳細は申込Webページをご確認ください。



# 2022年度 第13回 B-jin セミナー

Ⅱ スキルセミナー

## 大学院生向け 「人生とお金」の知恵 ～40歳まで、必ず役に立つ 金融リテラシー

ライフデザインとお金は切っても切れない関係です。

お金の知恵～お金の本質、お金をためるコツ・ふやすコツ、リスクとリターンなどをわかりやすく解説します。さらに、能力を高めるコツを、経済モデルを使ってわかりやすくお話しします。ノーベル経済学賞の研究成果を、明日からの人生に役立つ形で、幾つものイトコどりします。また、中央銀行の仕事（製造原価20円の紙が1万円に化ける仕事）についても触れます。これまで経済やお金について勉強したことがない人こそ、ぜひぜひご参加ください。

**1/18(水)**  
14:00～16:00  
**Zoom**  
--- 受付締切 ---  
1/17(火)15時



➤ 対象：博士（前期・後期）課程学生、ポストク

**講師：竹内 俊久** (TAKEUCHI Toshihisa) 氏 日本銀行 情報サービス局 企画役

### ！参加に当たっての注意事項

セミナー前日の17時までに、ZoomのURLをメールでお送りします。メールが届かない場合は、下記キャリア教育室までご連絡ください。

セミナー参加のための通信環境は、各自でご用意ください。

カメラ・マイクのON/OFFは講師の指示に従ってください。録音・録画は禁止します。

申込方法：ホームページから申し込みください

[https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/information/bsemi2022\\_13/](https://dec.nagoya-u.ac.jp/career/information/bsemi2022_13/)

※自動返信メールが届かない場合は、下記メールアドレスまでお問合せください。



1/23 (月) 2023

18:00-19:30

場所：名古屋大学減災館 1 階 減災ホール

# 「火山学を 火山防災に活かす」 ということ

鹿児島県は、桜島をはじめとする 11 の活火山を抱える火山県です。2011 年新燃岳噴火、2015 年口永良部島全島民避難、2022 年桜島噴火警戒レベル 5 など、この十数年間にも数多くの噴火や防災対応を経験しています。「火山学を火山防災に活かす」ためにはどうすればよいのか？を、みなさんと考えたいと思います。

◆開催形式：現地参加（事前申込制・限定 40 人）＋  
zoom ウェビナー（オンライン）

◆参加費：無料

◆申込方法：

下記 URL または QR コードよりお申込みください。  
ご登録いただきましたメールアドレス宛に参加方法  
をご案内します。

◆申込 URL：<https://forms.gle/nkq5dKL1zYSCJLLj9>

◆申込期限：2023 年 1 月 23 日（月）正午まで

主催：名古屋大学減災連携研究センター

問い合わせ：防災アカデミー担当

MAIL: [inquiry-academy@gensai.nagoya-u.ac.jp](mailto:inquiry-academy@gensai.nagoya-u.ac.jp)

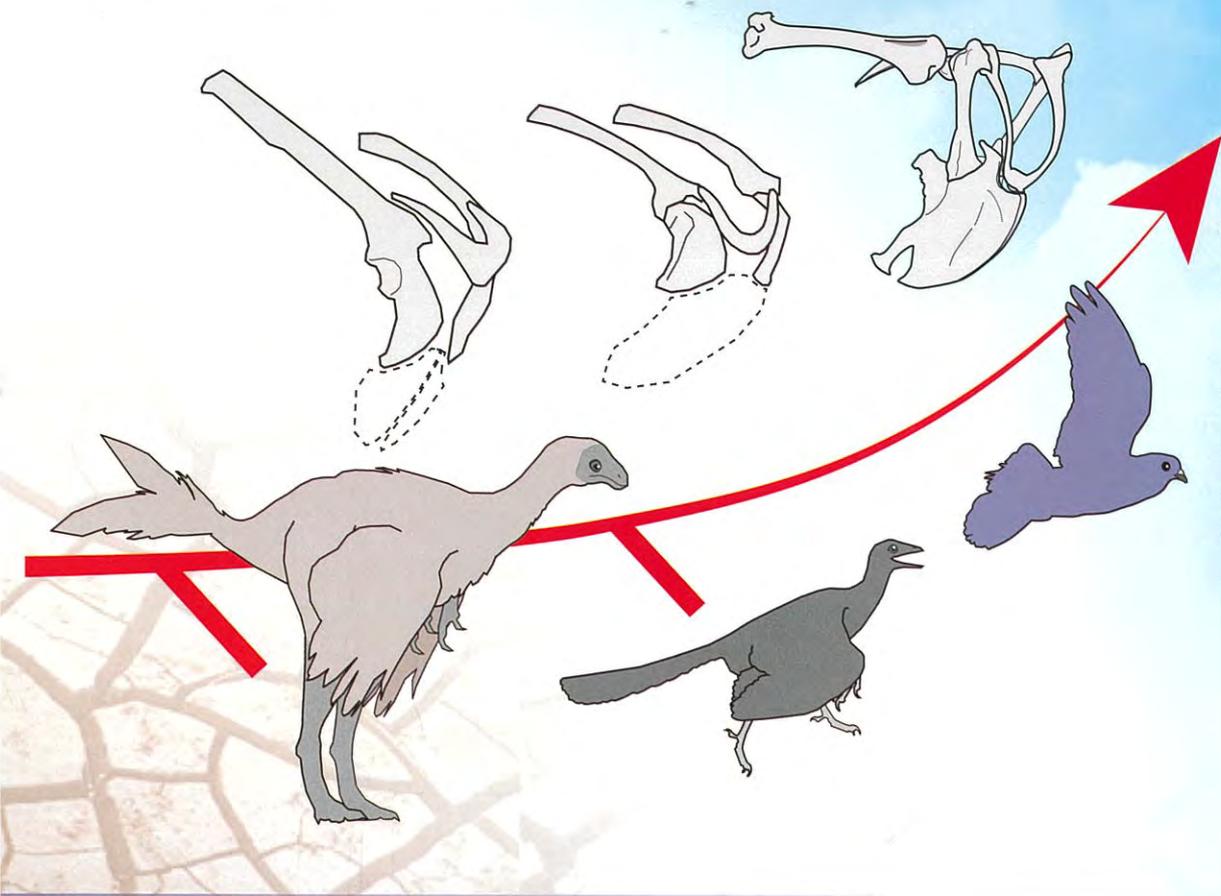


鹿児島大学共通教育センター准教授

## 井村 隆介



# 特別展関連講演会



「恐竜から鳥類へ、  
胸部骨格の強度から考える羽ばたき運動の起源」

2023.1.28 土 13:30-15:00

参加  
無料

鳥類は、なぜ飛べるようになったのでしょうか。鳥類が飛ぶには、翼だけでなく推進力を生む羽ばたき能力も必要です。209種の鳥類の胸部骨格を調べたところ、その強度が羽ばたき能力の指標となることがわかりました。本講演では、恐竜から鳥類への進化の羽ばたき飛翔の起源を解明するこの新たな指標について紹介します。

会場：名古屋大学博物館3F講義室

講師：明田卓巳（名古屋大学大学院環境学研究科・博士後期課程1年）

定員：対面50名、オンラインウェビナー200名

申込：下記ウェブサイトから（申込開始12/13(火) 13:00～）

<https://www.num.nagoya-u.ac.jp/exhibitions/special/>



※開館情報などの最新情報はホームページでご確認ください



Nagoya University Museum

名古屋大学博物館

〒464-8601 名古屋市千種区不老町

TEL: 052-789-5767 HP: [www.num.nagoya-u.ac.jp/](http://www.num.nagoya-u.ac.jp/)

地下鉄名城線名古屋大学駅2番出口すぐ ※公共交通機関をご利用ください

東海国立大学機構連携企画 名古屋大学博物館第29回特別展

岐阜大・名古屋大 博物館コラボ展

博物館コンサート



# 標本と楽しむ ピアノトリオ

2023.2.11(土) 14:00-15:00 参加無料

会場 名古屋大学博物館 展示室

出演 エミーリエ・ピアノトリオ

平山晶子 (ピアノ・岐阜大卒)

二川理嘉 (ヴァイオリン・愛知県立芸大卒)

杉山知子 (チェロ・愛知県立芸大卒)

事前申込制・先着50名 (下記ウェブサイトから・申込開始1/10(火) 13:00~)

<https://www.num.nagoya-u.ac.jp/events/concert/#000623>



 Nagoya University Museum  
名古屋大学博物館

〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
TEL: 052-789-5767 HP: [www.num.nagoya-u.ac.jp/](http://www.num.nagoya-u.ac.jp/)

地下鉄名城線名古屋大学駅2番出口すぐ ※公共交通機関をご利用ください

Nagoya University, ES Hall  
February 20-21, 2023

# The 5th KMI International Symposium

on “Quest for the Origin of Particles and the Universe”

## Topics

Particle physics at energy (LHC) and  
intensity frontier (SuperKEKB, J-PARC)  
Fundamental physics with neutrinos, neutrons, muons  
High energy hadron physics at zero degree  
Dark matter physics  
Astronomy with X-ray, radio-wave, and  
gravitation wave  
Cosmology, dark energy, gravity, and string theory

## Advisory Board

J. Ellis (King's College London), S. Iso (KEK), T. Kajita (ICRR), H. Murayama (UC Berkeley),  
M. Sasaki (IPMU), J. Silk (IAP), M. Yamauchi (KEK)

## Organizing Committee

J. Hisano (Chair), T. Iijima (Co-Chair), S. Nojiri (Co-Chair), Y. Itow, T. Shiromizu,  
S. Arai, M. Harada, Y. Horii, K. Ichiki, K. Izumi, H. Kanno, S. Kawamura,  
S. Kazama, M. Kitaguchi, T. Kitahara, N. Maekawa, H. Miyatake, M. Nakamura,  
T. Nakano, K. Nakazawa, A. Okumura, H. Rokujo, T. Sakai, H. Shimizu,  
N. Sugiyama, T. Sunayama, K. Suzuki, H. Tajima, M. Tanabashi, K. Tobe, M. Tomoto,  
N. Yamanaka, S. Yokoyama, K. Yoshihara, Q. Zhou

## Correspondence

[KMI2023@kmi.nagoya-u.ac.jp](mailto:KMI2023@kmi.nagoya-u.ac.jp)

<https://www.kmi.nagoya-u.ac.jp/workshop/KMI2023/>

名古屋大学全学同窓会・学士会共催 講演会 (ウェビナー)

# 2050年 カーボンニュートラルを 目指して

参加費無料

どなたでも  
お申し込みいただけます



## PROFILE

### 内山田 竹志氏

1946年生まれ愛知県出身。名古屋大学工学部卒。  
1969年トヨタ自動車工業株式会社(現トヨタ自動車株式会社)入社。

1994年第2開発センター第2企画部主査(初代「プリウス」開発責任者)となり、1997年に世界初の量産ハイブリッド自動車を世に送る。

1998年取締役、2001年常務取締役、2003年専務取締役、2005年取締役副社長、2012年取締役副会長を経て、2013年から現職。

この間、経済産業省計量行政審議会会長、総務省情報通信審議会会長、内閣府総合科学技術・イノベーション会議有識者議員、一般社団法人日本経済団体連合会副会長などを歴任。

2015年4月、藍綬褒章受章。  
2020年11月、旭日大綬章受章。

日時

令和5年 **2月20日** 月  
16:30~18:00

開催方法

Zoomウェビナー

※新型コロナウイルス感染症拡大予防のため  
オンラインでの開催となります。

講師

**内山田 竹志氏**

トヨタ自動車株式会社 取締役会長

お申し込み

申込期限: **令和5年2月19日(日)まで**

定員: **500名様**

**名古屋大学全学同窓会Webページよりお申し込みください。**

\* お申し込みは先着順とさせていただきます。  
定員に達し次第、お申し込み受付を終了しますのでご了承ください。  
お申し込み完了後、ご登録いただいたメールアドレス宛に  
Zoomウェビナーの参加方法をご案内します。

全学同窓会Webページ <https://www.nual.nagoya-u.ac.jp>

全学同窓会facebook <https://www.facebook.com/nualface/>



◀左記のQRコードからも  
ご確認・お申し込みいただけます。

[https://www.nual.nagoya-u.ac.jp/lecture2022\\_uchiyanada.html](https://www.nual.nagoya-u.ac.jp/lecture2022_uchiyanada.html)

※ご参加にあたって  
・視聴用のURLについては、お申し込みいただいたメールアドレスにご案内します。  
・講演会(ウェビナー)の録画はご遠慮ください。  
・Zoomウェビナーの視聴環境は各自でご用意ください。

主催

名古屋大学全学同窓会 一般社団法人 学士会

後援

名古屋大学

お問い合わせ

**NUAL** 名古屋大学全学同窓会  
NAGOYA UNIVERSITY ALUMNI ASSOCIATION

nual-jimu@adm.nagoya-u.ac.jp (052) 783-1920 受付時間9:00~17:00

東海国立大学機構連携企画 名古屋大学博物館第29回特別展

岐阜大・名古屋大 博物館コラボ展

特別展関連講演会



# 木曾馬の保存？ 木曾馬の保全？



木曾馬は、かつて、乗馬の名手・木曾義仲が愛し、武士の象徴であったという存在価値に加え、伝馬として、かつ農耕馬として、人とともに働き、ともに暮らし、その関わりを深めてきました。しかし、機械化や生活様式の変化からその役割を終えました。それでは、今、木曾馬はまったく価値のない馬となってしまったのでしょうか？ もし価値がないのならば、木曾馬がいなくなっても仕方ありません。でも、もし木曾馬に価値があるとしたら、その価値とは何なのでしょう？ 今回、「保存」と「保全」といった言葉から、希少な在来馬である木曾馬の存在を考えます。

2023

3/4 土 13:30-15:00

会場 名古屋大学博物館 3F講義室 **参加無料**

講師 高須正規 (岐阜大学 応用生物科学部・准教授)

定員 対面50名、オンラインウェビナー200名

申込 下記ウェブサイトから (申込開始1/31(火) 13:00~)

<https://www.num.nagoya-u.ac.jp//exhibitions/special/>

※開館情報などの最新情報はホームページでご確認ください

 Nagoya University Museum  
名古屋大学博物館

〒464-8601 名古屋市千種区不老町  
TEL: 052-789-5767 HP: [www.num.nagoya-u.ac.jp/](http://www.num.nagoya-u.ac.jp/)

地下鉄名城線名古屋大学駅2番出口すぐ ※公共交通機関をご利用ください



理系大学生のための

2023

# 太陽研究最前線体験ツアー

大学院での太陽に関する研究に興味のある方、最新の太陽研究に興味のある方などを対象に、国内の主要な太陽研究機関を5日間で一度に訪問するツアーです。国際的に活躍している太陽研究者が、太陽研究の最前線の紹介を行います。

日程：2023年3月27日（月）－3月31日（金）

訪問先： 国立天文台三鷹キャンパス  
宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所  
京都大学大学院理学研究科附属天文台  
名古屋大学宇宙地球環境研究所

講義協力：茨城大学理工学研究科  
東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻  
新潟大学大学院自然科学研究科宇宙情報学研究室  
大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻宇宙進化グループ

対象：理系学部（教育学部含む）大学生（2、3年生を優先）

参加条件：プログラムに全日参加できること

※書類審査により事務局で受講生を決定します



ホームページ：[https://jspc.sakura.ne.jp/sun\\_tour/](https://jspc.sakura.ne.jp/sun_tour/)

参加条件・参加申し込み方法・締め切り・日程など詳細はこちらでチェック！



企画：名古屋大学宇宙地球環境研究所、京都大学大学院理学研究科附属天文台、国立天文台（太陽観測科学プロジェクト）、宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所、茨城大学理工学研究科、東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻、新潟大学大学院自然科学研究科宇宙情報学研究室、滋賀大学教育学部、大阪大学大学院理学研究科宇宙地球科学専攻宇宙進化グループ、太陽研究者連絡会